

令和2年度使用
中学校教科用図書調査研究報告書
(「特別の教科 道徳」を除く)

山県教科用図書採択地区協議会

目 次

国 語	1
書 写	5
社会（地理的分野）	9
社会（歴史的分野）	13
社会（公民的分野）	19
地 図	24
数 学	27
理 科	37
音楽（一般）	43
音楽（器楽合奏）	45
美 術	46
保健体育	51
技術・家庭（技術分野）	55
技術・家庭（家庭分野）	61
英 語	65

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	国語	5	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の扉に単元の目標を単元名として示している。 <p>2 新出漢字の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 脚注に行数、音訓、用例を示している。 巻末に「新出漢字一覧」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 巻末に「新出音訓一覧」として、ページ数、新出音訓、用例を示している。 <p>3 言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語は「日本語探検」として、文法は「文法の窓」として単元の中で1～2ページ程度でまとめている。 巻末に、詳しい文法解説を示している。 	<p>1 興味・関心</p> <ul style="list-style-type: none"> 「案内や報告の文章を書こう」では、保護者宛ての合唱祭の案内や合唱祭の結果を学年便りに掲載する記事を書く活動を取り上げている。 「話し合いで問題を解決しよう」では、論点を整理し議論の順序をチャートで整理して討論する活動を取り上げている。 <p>2 学習過程・具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段に学習の流れ、下段に具体例などを提示している。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材の前に「学びの扉」を配置し、直前の教材で学習したこととの関連を示している。 	<p>1 構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文、「基礎編」「資料編」の3部構成である。 年間7単元。各単元は、各領域を関連させたものと『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。 古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 <p>2 分量</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の3年間合計ページ数が5発行者中で最も多い。 <p>3 発展的な学習の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載している。 	<p>1 巻末資料の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。 「学びを支える言葉の力」では、言葉の力を「実用的な言葉の力」「論理的な言葉の力」「創造的な言葉の力」の3項目6種類に分類し、学年に応じて系統的に示している。 文法に関しては、各解説の後に演習問題を掲載している。 <p>2 本文と図表等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学年説明的な文章において文章と図表との関連について考えさせる教材は、3教材19ページ掲載されている。図表等の種類は分布図などもあり5種類と多い。(数12) 	<p>1 読書単元の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書単元「読書への招待」(3回)を設定し3作品を掲載している。資料編に2作品を掲載するとともに2種類の読書活動を紹介している。 <p>2 書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書単元末の「読書案内」 資料編の「本と出会おう」 学習の手引き中や脚注の「読書案内」。 書籍紹介数 305冊 <p>3 「書くこと」の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 1, 2学年は6回, 3学年は4回設定し、詩歌の創作やレポート、批評文、手紙、ミニ雑誌の編集などがある。 <p>4 言語活動充実の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編に「話すこと・書くこと題材例」や「発想・整理の方法」の解説がある。

<p>1 1 学図</p>	<p>1 目標の示し方 ・単元の扉に単元名と単元の目標を示している。</p> <p>2 新出漢字の示し方 ・脚注に行数と本文中の読みを示している。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。</p> <p>3 言語・文法の扱い ・言語は「言葉と生活・言葉と文化」として3～5ページで各学年1回示し、文法は「文法の学習」として単元末に1ページにまとめている。 ・巻末に、詳しい文法解説と「○年生の語句・語彙の学習」を示している。</p>	<p>1 興味・関心 ・「隠れた世界を知る」では、運動会や文化祭などの学校行事で、友達がどのような仕事をしていたかを取材し、記事に書く活動を取り上げている。 ・「多様な意見の交差」では、立場を決めて主張をまとめ、パネルディスカッションを行う活動を取り上げている。</p> <p>2 学習過程・具体例 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、主に上段に学習の流れ、下段に学習の見通しや具体例などを、図表を多用して提示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材の前または後に「活動を考える」を配置し、教材で学習することとの関連を示している。</p>	<p>1 構成、配列 ・本文、「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」の4部構成である。 ・年間5単元。各単元は各領域を関連させたものと『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。 ・古典教材は、全学年、第4単元に配列している。</p> <p>2 分量 ・「読むこと」「伝統的な言語文化」「言葉の特徴やきまり・漢字」の3年間合計ページ数が5発行者中で最も多い。</p> <p>3 発展的な学習の示し方 ・「読むこと」の学習で、第一教材・第二教材に続いて選択教材を掲載している。</p>	<p>1 巻末資料の示し方 ・「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語文語活用対照表」として全学年に示している。 ・「古典に親しむために」として、全学年とも歴史的仮名遣い・文法・古語等の資料を掲載している。 ・文法に関しては、解説と併せて脚注に演習問題を掲載している。</p> <p>2 本文と図表等との関連 ・1学年説明的な文章において文章と図表との関連について考えさせる教材は、3教材14ページ掲載されている。図表等の種類が2種類と少ない。(数10)</p>	<p>1 読書単元の設定 ・読書単元「読書1」「読書2」を設定し、掲載作品に係る評論も含め、3～4作品を掲載している。</p> <p>2 書籍紹介 ・「読書2」の後の「読書案内」。 ・筆者紹介の脚注の「読書に広げるために」。 ・書籍紹介数 99冊</p> <p>3 「書くこと」の学習 ・各学年2回で、物語や詩、エッセイ、意見文やブックカバーを書く活動がある。</p> <p>4 言語活動充実の手立て ・各単元の「読むこと」の作品の内容からつなげて、表現活動に係るコラム「活動を考える」を設定し、「話す・聞く」「書く」活動への準備としている。</p>
<p>1 5 三省堂</p>	<p>1 目標の示し方 ・単元の扉に単元の目標を単元名として示している。</p> <p>2 新出漢字の示し方 ・脚注に行数と本文中の読みを示している。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「○年生で学ぶ漢字字典」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 ・巻末に「○年生で学ぶ音訓」として、ページ数、新出音訓を示している。</p>	<p>1 興味・関心 ・「目的や相手に応じて、情報を編集する」では、学校の様々な行事を案内するリーフレットを書く活動を取り上げている。 ・「合意を形成し、課題を解決する」では、グループでまとめた企画案を、クラスや学年の企画会議で検討する活動を取り上げている。</p> <p>2 学習過程・具体例 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページの脚注部分を広く取り、学</p>	<p>1 構成、配列 ・本文と「資料編」の2部構成である。 ・1・2学年7単元、3学年6単元。各単元は各領域を関連させたものと『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。 ・古典教材は、全学年、第3単元に配列している。</p> <p>2 分量 ・「話すこと・聞くこと」の3年間合計ページ数が5発行者中で最も多い。</p> <p>3 発展的な学習の示し方</p>	<p>1 巻末資料の示し方 ・「読書の広場」「考える広場」「参考資料」として全学年に示している。 ・「学ぶ力を高めよう」では、学びを深めるための手法を「さまざまな思考方法を使う」「メモを活用する」等の7つに分け、学年に応じて示している。 ・文法に関しては、各解説の後に演習問題を掲載している。</p> <p>2 本文と図表等との関連 ・1学年説明的な文章において文章と図表との関連</p>	<p>1 読書単元の設定 ・読書単元「読書」を設定して1作品を掲載し、1・2学年は関連して「読書郵便」などの読書活動を示している。資料編に「読書の広場」として古典作品を掲載している。</p> <p>2 書籍紹介 ・学習の手引き中の「私の本棚」。 ・「資料編」の「小さな図書館」。 ・書籍紹介数 289冊</p> <p>3 「書くこと」の学習 ・1学年は5回、2学年は</p>

	<p>3 言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「ことば発見」として単元の中で1～3ページにまとめている。文法は「文法のまど」として単元の中で1ページにまとめている。 ・巻末に、詳しい文法解説を示している。 	<p>習の流れやポイントなどを提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の具体例や学習活動の説明に、イラストや図表を多用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載している。 	<p>について考えさせる教材は、3教材17ページ掲載されている。図表等の数は少ない。(数8)</p>	<p>4回、3学年は3回設定し、レポート、行事案内リーフレット、地域情報誌、小論文などを書く活動がある。</p> <p>4 言語活動充実の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料編に「学ぶ力を高めよう」として、思考や調査、表現の方法について図を使って解説している。
17 教出	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 <p>2 新出漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字が出た行の真下の脚注に漢字のみを示し、本文中にルビがふつである。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 ・巻末に「〇年で読みを学習した漢字・語」として、ページ数、新出音訓を示している。 <p>3 言語・文法の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語は「言葉の小窓」、文法は「文法の小窓」として、単元の中に1ページ程度でまとめている。 ・巻末の「言葉と文法」に、詳しい言語解説と文法解説を示している。 	<p>1 興味・関心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行事などの案内文を書く」では、町内会宛てに合唱発表会の案内状を書く活動を取り上げている。 ・「課題を解決するために話し合う」では、議論の方向を捉えて発言し、発言の共通点や相違点を整理しながら互いの考えを生かし合い、提言をまとめる活動を取り上げている。 <p>2 学習過程・具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では「学びの重点」を設定し、各教材で身につけさせる学習内容を提示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の話し合い例や文章例の下部に「活動のポイント」を示している。 	<p>1 構成、配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文と「資料編」の2部構成である。 ・1・2学年8単元、3学年7単元。各単元は各領域を関連させたものと『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列し、単元末に読むことを含んでいる。 <p>2 分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の3年間合計ページ数が5発行者中で2番目に多い。 <p>3 発展的な学習の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載している。 	<p>1 巻末資料の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉と文法（解説編）」「漢字」「言葉の自習室」として全学年に示している。 ・「学びのチャレンジ」では本文で学習したことを振り返り、さらに学習を進めるための課題を示している。 ・文法に関しては、解説の後に演習問題を掲載しているが、演習問題の量は少ない。 <p>2 本文と図表等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年説明的な文章において文章と図表との関連について考えさせる教材は、4教材21ページ掲載されている。図表等の数は最も多い。(数23) 	<p>1 読書単元の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書単元「読書への招待」2回を設定して2作品を掲載し、学習の手引きにポップづくりなどの読書活動を示している。巻末の「言葉の自習室」に、1・2学年は5作品、3学年は6作品を掲載している。 <p>2 書籍紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引き中の「読んでみよう」「本の世界へ」。 ・資料編の「各学年のための読書案内」。 ・書籍紹介数 260冊 <p>3 「書くこと」の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年5回設定し、図表を用いた報告や四コマ漫画から意見文を書く、広告を批評するなどの活動がある。 <p>4 言語活動充実の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の自習室」で、アイデアの出し方、インタビューの仕方などを説明している。

<p>1 目標の示し方 ・単元の扉に単元名と単元の目標を示している。</p> <p>2 新出漢字の示し方 ・脚注に行数と本文中の読みを示している。 ・教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 ・巻末に「〇年生で学習した音訓」として、ページ数、新出音訓、用例を示している。</p> <p>3 言語・文法の扱い ・言語は「言葉」、文法は「文法への扉」として、単元の中や単元末に1～3ページ程度でまとめている。 ・巻末に、詳しい文法解説を示している。</p>	<p>1 興味・関心 ・「調べたことを報告しよう」では、言葉について調べてみたい課題を日常生活の中から探し、調査してわかったことをレポートにまとめて報告する活動を取り上げている。 ・「話し合っ提案をまとめよう」では、課題に対してグループで具体的な提案を考え、全体会議で結論をまとめる活動を取り上げている。</p> <p>2 学習過程・具体例 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段に学習の流れ、下段に具体例などを提示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習活動は、4つのステップで構成され、テーマを決めたり立場や根拠を考えたりする手順を示している。</p>	<p>1 構成、配列 ・2・3学年は、本文と「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」の4部構成、1学年は「言葉に出会うために」を加えた5部構成である。 ・年間7単元。各単元は「読むこと」に絞ったものが各学年1単元、それ以外は複数領域を関連させた単元である。 ・古典教材は、全学年、第5単元に配列している。</p> <p>2 分量 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴やきまり・漢字」の3年間合計ページ数が5発行者中で2番目に多い。</p> <p>3 発展的な学習の示し方 ・「学習を広げる」に読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載している。</p>	<p>1 巻末資料の示し方 ・「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として全学年に示している。 ・「漢字に親しもう」では、小学校6学年で学んだ漢字（書き）の練習を問題形式で示している。また、巻末資料の折込は、文章を読むための基本的な学習用語をまとめている。</p> <p>・文法に関しては、解説と併せて脚注に演習問題を掲載している。</p> <p>2 本文と図表等との関連 ・1学年説明的な文章において文章と図表との関連について考えさせる教材は、4教材23ページと最も多く掲載されている。図表等の種類が5種類と多い。(数19)</p>	<p>1 読書単元の設定 ・読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設定して2作品を掲載し、読んだ本の紹介などの読書活動を示している。1学年の資料編に読書感想文の書き方に係る教材を掲載している。</p> <p>2 書籍紹介 ・読書単元末の「本の世界を広げよう」。 ・筆者紹介の脚注の「広がる読書」。 ・書籍紹介数 243冊</p> <p>3 「書くこと」の学習 ・1・2学年は5回、3学年は3回設定し、新入生へのメッセージを書く、職業ガイドを作る、修学旅行記を編集するなどの活動がある。また、書く内容を整理する方法や推敲などを、「練習」として各学年3回設定している。</p> <p>4 言語活動充実の手立て ・資料編で、表現活動のテーマ例や情報の収集方法などの解説がある。</p>
--	---	--	---	---

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	書写	5	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>1 目標の示し方 ・「目標」と明記して、単元ごとに示している。</p> <p>2 執筆法等の示し方 ・巻頭に毛筆、硬筆それぞれの正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方の写真、イラストを3ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真及びイラストで提示している。 ・チョークの持ち方も示されている。</p> <p>3 歴史と言語文化に関する記述 ・書写の歴史に関する資料等の内容ページ数、6ページ 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数11ページ</p>	<p>1 単元構成 ・学習の冒頭に目標と自分の課題を考えさせ、課題を解決するための練習→学習したことの他の文字への汎化→自己評価→日常生活への活用→発展的な学習という学習の進め方となっている。</p> <p>2 自己評価 ・各教材ページ下部に「振り返ろう」として観点が示され、学習を振り返って、「できた」は「○」、「もう少し」は「△」と記入するように設定している。</p>	<p>1 単元、教材の配列 ・総ページ数 1 学年（44巻末折込） 2 学年（34巻末折込） 3 学年（18巻末折込） 巻末資料（35） ・毛筆教材数 1 学年（5） 2 学年（5） 3 学年（2） 補充教材（4） ・硬筆記入欄 1 学年（14） 2 学年（7） 3 学年（0）</p> <p>2 発展的な学習の扱い ・発展（2ページ） 巻末資料に掲載している。 高等学校の内容として唐の四大家の文字の比較を扱っている。</p>	<p>1 筆遣い等の示し方 ・薄墨と朱の二色で、筆遣いを示している。また、筆脈を青の点線で示し、形の特徴で注意すべき点を書いている。 ・行書の動きのパターンを4つに整理し、文字のどの部分に動きのパターンが生かせるかを書き込ませるようになっている。 ・教材の右側に動きのパターンと形の特徴を書く時のポイントとして示している。 ・楷書の基本点画について写真で筆遣いを示すとともに、送筆については「トン」「スー」「ピタッ」などの擬音を入れて示している。 ・写真で筆遣いを示している。</p>	<p>1 学習や日常生活との関連付け ・1 学年「目標を書こう」「年賀状を書こう」「書き初めをしよう」「竹取物語」等 2 学年「好きな言葉を書こう」「書き初めをしよう」「平家物語」等 3 学年「ノートに書くときに」「絵はがきや電子メールを出すときに」「ポスターを作るときに」「おくのほそ道」等 ・単元の終わりに「生活に広げよう」というページがあり、学習したことを日常の掲示物や記述の場面で活用させる。1 学年は3単元、2 学年は2単元、3 学年は1単元。</p>

<p>1 1 学図</p>	<p>1 目標の示し方 ・「目標」と明記せず，小単元ごとに示している。</p> <p>2 執筆法等の示し方 ・巻頭に毛筆，硬筆それぞれの正しい姿勢，筆の持ち方及び腕の構え方，墨のすり方，筆の各部の名称と働きの写真を1ページで示している。</p> <p>・筆の持ち方・構え方については，大筆が単鉤法，双鉤法，懸腕法，小筆が提腕法，枕腕法を，写真で提示している。</p> <p>3 歴史と言語文化に関する記述 ・書写の歴史に関する資料等の内容ページ数，2ページ 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数8ページ</p>	<p>1 単元構成 ・試し書きから自分の課題を見つけ練習し，練習の成果を確認するためにまとめ書きをし，毛筆で学習したことを硬筆に生かすような学習の進め方となっている。</p> <p>2 自己評価 ・1学年の各単元末に「振り返って…」として評価の観点を示している。(記入欄はなし)</p>	<p>1 単元，教材の配列 ・総ページ数 1学年 (44) 2学年 (32) 3学年 (30) 巻末資料 (11)</p> <p>・毛筆教材数 1学年 (8) 2学年 (8) 3学年 (4)</p> <p>・硬筆記入欄 1学年 (12) 2学年 (3) 3学年 (0)</p> <p>2 発展的な学習の扱い ・発展 (7ページ) 1学年と3学年に掲載している。 高等学校の内容として古典の書家，篆刻を扱っている。</p>	<p>1 筆遣い等の示し方 ・薄墨と朱の二色で，楷書と行書の基本点画を示している。</p> <p>・筆脈を赤の矢印で示している。</p> <p>・形の特徴を赤字で書いている。</p> <p>・書き順を数字で示している。</p>	<p>1 学習や日常生活との関連付け ・全学年とも「書き初めをしよう」を設定している。</p> <p>・3学年は，全単元を「書写を生活に生かそう」として，職場体験の礼状，年賀状，短冊，色紙，額等の作品作成を掲載している。</p>
<p>1 5 三省堂</p>	<p>1 目標の示し方 ・「目標」と明記して単元ごとに示している。</p> <p>2 執筆法等の示し方 ・巻頭に毛筆の正しい姿勢，鉛筆の持ち方，筆の持ち方，用具の置き方，墨のすり方，片付け方の写真，イラストを3ページにわたり示している。</p> <p>・筆の持ち方・構え方については，大筆が単鉤法，双鉤法，懸腕法，小筆が提腕法，枕腕法を，写真で提示している。</p> <p>3 歴史と言語文化に関する記述 ・書写の歴史に関する資料等の内容ページ数，6ページ</p>	<p>1 単元構成 ・「考えよう・話し合おう」として課題意識の確認→硬筆と毛筆で書いて確認→自己評価→学習のまとめとして硬筆教材での確認・定着→日常生活への活用という学習の進め方となっている。</p> <p>2 自己評価 ・題材ごとに「振り返ろう」として評価の観点を示している。(記述欄はなし。)</p>	<p>1 単元，教材の配列 ・総ページ数 1学年 (40) 2学年 (30) 3学年 (12) 巻末資料 (29)</p> <p>・毛筆教材数 1学年 (7) 2学年 (4) 3学年 (1)</p> <p>・硬筆記入欄 1学年 (14) 2学年 (8) 3学年 (0)</p> <p>2 発展的な学習の扱い ・発展 (1ページ) 2学年に掲載している。 高等学校の内容として</p>	<p>1 筆遣い等の示し方 ・楷書と行書を比較している。</p> <p>・行書の特徴を青の矢印，囲み，青字による書き込みで示している。また，筆脈を青の点線で示している。</p> <p>・薄墨と朱の2色で筆遣いを示している。</p> <p>・写真で筆遣いを示している。</p>	<p>1 学習や日常生活との関連付け ・1学年「行事の目標を書こう」「本を紹介しよう」「書き初め」等 2学年「手紙を書こう」「書き初め」「座右の銘を書こう」等 3学年「卒業記念冊子をつくろう」「書き初め」等 ・単元の終わりに「生活に生かそう」というページがあり，学習したことを日常の掲示物や記述の場面で活用させる。1学年は2単元，2学年は2単元，3学年は1単元。</p>

	一 ジ 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数4ページ		唐の書家、平安時代の日本の書家を扱っている。		
17 教出	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに「目標」と明記して示している。 <p>2 執筆法等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆、ボールペンの持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、墨のすり方、後片付け、構え方、筆の各部分の名称の写真を3ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、懸腕法、小筆が提腕法、枕腕法を、写真で提示している。 <p>3 歴史と言語文化に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の歴史に関する資料等の内容ページ数、11ページ <p>伝統的な言語文化に関する内容及びページ数16ページ</p>	<p>1 単元構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆や毛筆による「試し書き」→試し書きと教科書の文字の比較による自己課題の発見→毛筆の別の課題または硬筆課題での定着→「まとめ書き」で学習の定着の確認→自己評価→日常生活への活用という学習の進め方となっている。 <p>2 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに「振り返ろう」として観点が示され、「できた」は「○」、「もう少し」は「△」と記入するように設定している。 	<p>1 単元、教材の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (56) 2学年 (40) 3学年 (17) 巻末資料 (20) ・毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (6) 2学年 (5) 3学年 (3) ・補充教材 (13) ・硬筆記入欄 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (10) 2学年 (10) 3学年 (2) <p>2 発展的な学習の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展 (6ページ) <ul style="list-style-type: none"> 各学年と巻末に掲載している。 各学年で定められた学習内容の他にとりして、1学年では行書と仮名の調和、2・3学年と巻末は古典を扱っている。 	<p>1 筆遣い等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書を比較している。 ・薄墨と朱の2色で筆遣いを示している。 ・書き順を数字で示している。 ・筆脈は点線で示している。 ・筆順や形の特徴、筆脈に加え、中心線を示している。 ・写真で筆遣いを示している。 	<p>1 学習や日常生活との関連付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年「感謝の気持ちを伝えよう」「願いや祈りを伝えよう」「書き初めを書く」等 2学年「応援しよう」「書き初めを書く」「決意を伝えよう」等 3学年「三年間の学習の成果を生かそう(卒業カレンダー、メッセージカード)」「書き初めを書く」等
38 光村	<p>1 目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに「目標」と明記して示している。 <p>2 執筆法等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に毛筆の正しい姿勢、鉛筆の持ち方、筆の持ち方、用具の置き方、後片付け、構え方の写真を2ページにわたり示している。 ・筆の持ち方・構え方については、大筆が単鉤法、双鉤法、小筆が提腕法、 	<p>1 単元構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認→「学習の窓」による留意点の確認→練習と仕上げ→硬筆による学習の確認、定着→自己評価→日常生活への活用という学習の進め方になっている。 <p>2 自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに「学習を振り返る」として評価の観点を示し、「できた」は「○」、「もう少し」は「△」と 	<p>1 単元、教材の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (28) 2学年 (20) 3学年 (13) 巻末資料 (50) ・毛筆教材数 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (6) 2学年 (5) 3学年 (2) ・補充教材 (8) ・硬筆記入欄 <ul style="list-style-type: none"> 1学年 (6) 	<p>1 筆遣い等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薄墨と朱の二色で筆遣いを示し、行書の特徴を丸で囲み、赤の太字で書いている。 ・楷書と行書を比較し、筆遣いや筆圧の違いを示している。 ・筆脈を点線で示している。 ・写真で筆遣いを示している。 	<p>1 学習や日常生活との関連付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも「書き初め」を設定している。 ・「資料編」で、日常生活での活用を紹介している。教材として「手紙・封筒・葉書」「送り状・願書・のし袋」「原稿用紙」が示されている。 さらに、情報活用、図書館活用、学校行事への活用の教材を掲載している。

	<p>枕腕法を、写真で提示している。</p> <p>3 歴史と言語文化に関する記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の歴史に関する資料等の内容ページ数、4ページ <p>伝統的な言語文化に関する内容及びページ数10ページ</p>	<p>記入するように設定している。</p>	<p>2学年 (4)</p> <p>3学年 (0)</p> <p>2 発展的な学習の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展 (1ページ) <p>3学年に掲載している。</p> <p>高等学校の内容として中国の書家、平安時代の日本の書家を扱っている。</p>		<p>る。</p>
--	--	-----------------------	---	--	-----------

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地理的分野）	4	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
2 東書	①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの右横に「どのような・どのように～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。 ②日本の領域について、本文2ページで扱うとともに、「地理にアクセス」で領土をめぐる問題を2ページにわたって解説している。 ③小単元の終わりに「○○の学習をふり返ろう」、中単元の終わりに「この章	④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、「ためしてみよう」を記載している。 ⑤身近な地域の調査の手順を、情報を集める、調査テーマを決める、仮説を立てる、調査計画を立てる、調査する、考察しまとめる、発表する、の7つの段階に分けて示している。 ⑥地球儀を使った距離と方位の調べ方、地図帳を使った国や都市の探し方など、36の事例を記載している。	⑦総ページ（301） 「世界の様々な地域」122（41%） 「日本の様々な地域」155（51%） 「その他」24（8%） ⑧「深めよう」で、「世界の様々な地域」の単元に各1ページで7教材、「日本のさまざまな地域」の単元に各1から2ページで9教材を記載している。また、「ひであきさんの自由研究」で、自由研究の手順を資料とともに1ページで示している。	⑨総掲載数 1092 点（写真 620 点， 絵図 74 点， 地図 218 点， 図表・グラフ 180 点） ⑩本文やコラム文章などの上部に参照するページ数や資料の番号を示している。また、「地理スキルアップ」「調査の達人」「地理にアクセス」を掲載している。「えんぴつマーク」「ためしてみよう」などを掲載して学習を深めたり、関連する内容を取り上げたりすることができるようになっている。他の分野とのつながりが強い内容に「分	⑪一時間ごと見開きページの最後の「確認」により、「～について説明しましょう」「語句を使って説明しましょう」「自分の考えで説明しましょう」など説明を求める課題を掲載している。 ⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「韓国の食文化の背景」を例示している。

	<p>の学習を確認しよう」を各1ページ設けている。また、「地理スキルアップ」「調査の達人」のコーナーを計36か所設定し、学んだことを確認したり、深めたりする「課題」の欄を見開きごとに設けている。</p>			<p>野関連マーク」や「国宝・重要文化財マーク」がついている。</p>	
17 教出	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの下に、「学習課題」と表記して「どのような・どのように〜でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>②日本の領域について、本文4ページで扱い、そのうち、領土をめぐる問題について2ページで扱っている。</p> <p>③小単元の終わりに「学習のまとめと表現」を1ページ設けている。また、「地理にアプローチ」のコーナーを16か所設定するとともに、学んだことを確認したり、活用したりする「ふりかえる」の欄を見開きごとに設けている。</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、グラフ、生徒の吹き出しを記載している。</p> <p>⑤身近な地域の調査の手順を、地形図の利用、地域の観察、テーマの決定、テーマ別の調査、調査結果のまとめ、発表会を開く、レポートの作成、の7つの段階に分けて示している。</p> <p>⑥地図のきまりを思い出そう、地図の種類を知ろうなど、22の事例を記載している。</p>	<p>⑦総ページ(287) 「世界の様々な地域」114(40%) 「日本の様々な地域」141(49%) 「その他」32(11%)</p> <p>⑧「地域から世界を考えよう」で、「世界の様々な地域」の単元に各1ページで6教材、「現代日本の課題を考えよう」で、「日本の様々な地域」の単元に各2ページで7教材を記載している。</p>	<p>⑨総掲載数831点(写真460点、絵図30点、地図209点、図表・グラフ132点)</p> <p>⑩本文下部に参照するページ番号を記載している。また、本文上部に参照する資料の番号を記載している。「側注解説」や「地理の窓」で学習を深めることができる。資料の読み取りに効果的な「読み解こう」や「地理にアプローチ」を掲載している。</p>	<p>⑪一時間ごと見開きページの最後の「ふりかえる」はこの時間で学習したことを振り返って確認するステップ1と学習してきたことを活用して表現するステップ2に分かれている。ステップ1は「書き表わそう」など、ステップ2は「まとめよう」など課題を掲載している。</p> <p>⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「カレーから見た食文化」を例示している。</p>
	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの右横に、「学習課題」と表記して「どのような・どのように〜で</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフを記載している。</p> <p>⑤身近な地域の調査の手順</p>	<p>⑦総ページ(289) 「世界の様々な地域」118(41%) 「日本の様々な地域」157(54%)</p>	<p>⑨総掲載数1016点(写真560点、絵図84点、地図182点、図表・グラフ190点)</p> <p>⑩本文下部に参照するペー</p>	<p>⑪一時間ごと見開きページの最後に「確認しよう」と「説明しよう」を掲載している。「確認しよう」は本文の中から学習上大</p>

<p>4 6 帝国</p>	<p>しょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>②日本の領域について、本文4ページで扱い、そのうち、領土をめぐる問題について2ページで扱っている。日本の東西南北の端の島名を書き込むようになっている。</p> <p>③小単元の終わりに「学習をふりかえろう」を各1～2ページ設けている。また、「技能をみがく」のコーナーを25か所設定するとともに、学んだことを確認する「確認しよう」、自分の言葉で説明する「説明しよう」の欄を見開きごとに設けている。さらに、見開きページに「探してみよう」のコーナーが設けてあり、資料に関する問いかけや作業を指示する「資料活用」を設けている。</p>	<p>を、テーマを決める、調査方法を考える、野外調査をする、資料を集めて調べる、調査結果を発表する、の5つの段階に分けて示している。</p> <p>⑥地図帳の統計資料の使い方、地図帳の索引の引き方など、25の事例を記載している。</p>	<p>「その他」14（5%）</p> <p>⑧日本の様々な地域の小単元に「トライアル地理」を1～2ページで教材を記載し、「地域を探ろう」で各1ページ、6教材を記載している。</p>	<p>ジ番号を記載している。また、本文上部に参照する資料（解説文）の番号を記載している。「解説」や「羅針盤マーク」を記載している。また、地理の基礎的な技能を身につけるコラム「技能をみがく」を掲載している。具体的な話を掲載した「声」を記載している。さらに知識を深めたいときに学習する「発展」や資料を活用する「やってみよう」「資料活用」の記載がある。</p>	<p>切な事項を書き出す作業などを紹介している。「説明しよう」は学習した内容をふまえ、自分の言葉で説明する作業を紹介している。</p> <p>⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「韓国の食文化」を例示している。</p>
<p>1 1 6 日文</p>	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの左横にコーナーに「学習課題」と表記して「どのような・どのように・なぜ～だろう。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>②日本の領域について、本</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、生徒の吹き出し、「読み取ろう」を記載している。</p> <p>⑤身近な地域の調査の手順を、調査テーマを決定する、仮説を立てる、調査計画を立てる、調査を進める、仮説を検証する、</p>	<p>⑦総ページ（289） 「世界の様々な地域」112（39%） 「日本の様々な地域」157（54%） 「その他」20（7%）</p> <p>⑧世界の様々な地域の小単元に、「自由研究」を設け、各1ページで6教材を記載している。また、日本</p>	<p>⑨総掲載数915点（写真516点、絵図56点、地図191点、図表・グラフ152点）</p> <p>⑩本文下部に参照するページ番号を記載している。また、本文上部に参照する資料の番号を記載している。「（鍵）マーク」や「インデックス」を記載している。また、小学校の学習や</p>	<p>⑪一時間ごとに見開きページの最後に「学習の確認と活用」が掲載されている。この見開きで何を学んでいくのかを示した「学習課題」に対応している。理解を確かにする活動やさらに考えを深めたり、現実の問題に取り組んだりする問いかけを示して</p>

	<p>文4ページで扱い、そのうち領土をめぐる問題について2ページで扱っている。</p> <p>③小単元の終わりに「学習のまとめ」、中単元の終わりに「学習の活用」を各1ページ設けている。また、「スキルUP」を37か所、「言語活動（読み取るう、考えよう、まとめよう、伝えよう）」コーナーを42か所設けている。さらに、見開きごとに学習課題に対応した「学習の確認と活用」を設け、知識・技能の定着を図っている。</p>	<p>地域の課題をとらえる、調査結果をまとめる、調査結果を発表する、の8つの段階に分けて示している。</p> <p>⑥緯度・経度を使った地球上の位置のあらわし方、地球儀を使った方位と距離のはかり方、など37の事例を記載している。</p>	<p>の様々な地域の単元に、各1～2ページで10教材を記載している。</p>	<p>歴史・公民の学習とのつながりを示す「連携コーナー」を記載している。関連する特設ページなどを示す「〇〇〇も見てみよう」を記載している。思考・判断・表現する活動を示す「言語活動コーナー」を記載している。学習内容を深めていくことができる「地理+α」を記載している。必要な技能を詳しく解説している「スキルUP」を記載している。作業学習「トライ」を記載している。実際にそこに住む人々の言葉を紹介している「声」を記載している。</p>	<p>いる。</p> <p>⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「シベリア鉄道班が調べたロシアの様子」を例示している。</p>
--	--	--	--	--	---

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（歴史的分野）	8	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用（「近世」で比較） ⑩本文以外の記述の工夫（「現代」で比較）	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫（「中世」で比較） ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
2 東書	①見開きごとに、タイトルの横に「どのような」「どのように」の問いかけの形で各1時間に追究する学習課題を示す。 ②表紙や裏表紙に国宝・重要文化財・史跡などを紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が5点ある。2ページの読み物資料に5つの	④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図を用いたり、前ページから政治・経済・社会文化・東アジアやヨーロッパとの関連を含めた年表をつなげて、既習の時代とのつながりを分かりやすくしたりしている。加えて、見開き2ページで各時代区分における登場順に、人物や出	⑦総ページ299「歴史のとらえ方」14（5%）、「古代」44（15%）、「中世」34（11%）、「近世」44（15%）、「近代」98（33%）、「現代」37（12%）、「その他」28（9%）7章構成。 ⑧各大項目に、「深めよう」というコーナーを設け、本文の学習と関連の	⑨写真・絵図128点、地図18点、図表グラフ23点、年表3点、合計172点 ⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「女の子が首から下げているのは何だろう。」	⑪時代の特色を前時代と比べて「政治の動き」、「社会の動き」、「外国との関係」、「文化の特色」、等の項目ごとに「比較表」でまとめよう。 ⑫章末などでイラストマップや年表など11種の方法でまとめさせる活動が

	<p>事例を取り上げ、民俗芸能や「神楽」との関わりを示している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 21 点あり、古代 1 点、中世 2 点、近世 3 点、近代 8 点、現代 7 点の内訳である。コラム「歴史にアクセス」という名称で、近現代での内容に厚みがある。</p>	<p>来事の絵図・写真を並べたりして学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「第 1 章 歴史のながれをとらえよう」において、調べ学習のポイントを「テーマを決めるポイント」「考察するポイント」「まとめと発表のポイント」「見直すポイント」と 5 つの手順で示している。</p> <p>⑥「時代や年代を読み取ろう」「歴史地図をみてみよう」など 17 事例を掲載している。</p>	<p>ある読み物として扱っている。（「現代に受け継がれる神話」等、事例数 13）</p>		<p>ある。</p>
17 教出	<p>①見開きごとに、タイトルの横に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で学習課題を示す。</p> <p>②裏表紙に遺跡・史跡・出来事などを紹介し、資料の「国宝」などにマークをつけて示している。神話・伝承に関する事例が 3 点ある。神話から古代の人々の信仰について考えさせようとしている。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 22 点あり、古代 1 点、中世 1</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図、年代、日本の時代名、中国・朝鮮の王朝名を示した年表を用い、キャラクターの問答を通して、学習内容のあらましを説明することで学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「郷土の歴史を探ろう」というテーマで大単元ごとに 1 つずつ、調べ学習の手順を 5 つに分けて示している。</p>	<p>⑦総ページ 291「歴史のとらえ方」 9（3%）、「古代」 38（13%）、「中世」 34（12%）、「近世」 44（15%）、「近代」 104（36%）、「現代」 32（11%）、「その他」 30（10%） 8 章構成。</p> <p>⑧各大項目に、「（資料・人物と地域・地域・世界）から歴史を探ろう」というコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマを読み物として</p>	<p>⑨写真・絵図 112 点、地図 13 点、図表グラフ 20 点、年表 3 点、合計 148 点</p> <p>⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「戦争が終わり、人々はどうの思いで戦後の生活を送っていたのだろうか？」</p>	<p>⑪中世の特色について、「政治では」「外国との関係では」「文化では」といった項目ごとに分けてキーワード」を使って表に整理して考えるような課題例を設定している。</p> <p>⑫章末などで、キャッチフレーズや仮想の討論会など 7 種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

	点, 近世6点, 近代8点, 現代6点の内訳である。コラム「歴史の窓」という名称で, 近世に少し厚みをもたせている。	⑥「干支や単位・資料を活用しよう」「郷土の歴史を探ろう」など, 9事例を掲載している。	扱っている。(「木簡が語る人々の暮らし」等, 事例数20)		
35 清水	①見開きごとに, タイトルの横に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。 ②表紙や裏表紙に出来事・史跡などを紹介し, 資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が3点ある。 ③国際関係や文化交流に関するコラムが24点あり, 古代8点, 中世2点, 近世7点, 近代7点, 現代0点の内訳である。	④大項目の導入において, 写真や絵図, 年表を用いてどのあたりの時代の, どのような人物や出来事について学習をするのかを示し, 興味・関心を高めている。 ⑤「第3章 近世の日本と世界」において, フィールドワークや博物館・資料館見学のポイントなど, 身近な地域の歴史についてさらに深く調べていく方法を6点示している。 ⑥「資料を読み取ろう」「人物を調べてみよう」など, 6事例を掲載している。	⑦総ページ307「歴史のとらえ方」9(3%), 「古代」52(17%), 「中世」32(11%), 「近世」56(18%), 「近代」102(33%), 「現代」28(9%), 「その他」28(9%)6章構成。 ⑧各大項目に, 「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」というコーナーを設け, 本文の学習と関連のあるテーマを扱っている。(「植物と日本人」等, 事例数14)	⑨写真・絵図146点, 地図18点, 図表グラフ22点, 年表3点, 合計189点 ⑩毎時間, 導入の資料に対する疑問を吹き出して示している。「戦争が終わり, 人々は何のような思いで戦後の生活を送っていたのだろうか?」	⑪中世の日本文化の特色について写真を参考にして【武士 公家 禅宗】という語句を用いて説明させる課題を設定している。 ⑫章末などで, パワーポイントやレポートなど9種の方法でまとめさせる活動がある。
46 帝国	①見開きごとに, タイトル横に, 「どのように」「どのような」という問いかけの形で学習課題を示す。 ②1ページの上半分に, 資料の「国宝」などにマー	④大項目の導入において, 2ページわたる, 時代のようなすを大観させる着目ポイントを示したイラストや, 写真・絵図入りの年表を用いて学習への興味・関心を高めている。	⑦総ページ285「歴史のとらえ方」11(4%), 「古代」38(13%), 「中世」36(13%), 「近世」52(18%), 「近代」98(34%), 「現代」28(10%),	⑨写真・絵図168点, 地図23点, 図表グラフ23点, 年表5点, 合計219点 ⑩毎時間, 導入の資料に対する疑問を吹き出して示している。「連合軍の	⑪一定の文章にあてはまるような語句や文を考えさせ, 中世の特色を説明させる課題を設定している。【中世は()の時代である。それは()だからであ

	<p>クをつけて示している。神話・伝承に関する事例が3点あり、他地域との共通する考え方を紹介している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関する小コラムが52点あり、古代7点、中世4点、近世7点、近代23点、現代11点の内訳である。「自然環境」「人権」「交流」「平和」「地域史」「人物コラム」等に分けられている。</p>	<p>⑤「第1部第2章 歴史に調べ方 まとめ・発表の仕方」において、「地域の歴史を探そう」から「地域をふりかえろう」等での調べ学習のポイントを8点示している。</p> <p>⑥「身近な地域にひそむ歴史を探ろう」「情報の集め方」など、12事例を掲載している。</p>	<p>「その他」22(8%)7部構成。</p> <p>⑧各大項目の、「歴史を探ろう」や2か所に設定した「トライアル歴史」というコーナーで、本文の学習と関連のあるテーマを読み物として扱っている。「古墳からわかる当時のようす」等、事例数13)</p>	<p>占領によって、日本はどのように変化したのかな。」</p>	<p>る。】</p> <p>⑫章末などで、手紙や関係図・流れ図など14種の方法でまとめさせる活動がある。</p>
116 日文	<p>①見開きごとに、タイトル横に「どのような」「どのように」の問いかけの形で各1時間に追究する学習課題を示す。</p> <p>②表紙や裏表紙に出来事(関係地)・史跡などを紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が1点ある。古代の人々の信仰や考え方が他地域とも共通していることを紹介している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが28点あ</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図、年表、イラスト入りの地図を用いてめあてを示して、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤各大単元において、「でかけよう!地域調べ」というコーナーを設け、「歴史博物館で調べる」「調べたことを新聞形式でまとめ、学校のホームページにのせるなど、広く発表する」などのポイントを4点示している。</p> <p>⑥「系図の見方」「草戸千</p>	<p>⑦総ページ309「歴史のとらえ方」8(3%)、「古代」44(14%)、「中世」38(12%)、「近世」50(16%)、「近代」98(32%)、「現代」36(12%)、「その他」35(11%)6編構成。</p> <p>⑧各大項目に、「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」というコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマを読み物として扱っている。「日本の食生活のルーツを探</p>	<p>⑨写真・絵図144点、地図26点、図表グラフ31点、年表6点、合計207点</p> <p>⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「国連憲章には国連の目指すものは何と記されているのかな。」</p>	<p>⑪中世に定められた主な「法」に着目し、「制定された主な法」、「法の内容」、「目的」といった項目ごとに分け、古代と比較しながら考える課題例を設定している。</p> <p>⑫章末などで、表や歴史新聞など5種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

	り，古代4点，中世2点，近世4点，近代12点，現代6点の内訳である。	軒町遺跡を調べる」など，7事例を掲載している。	る」等，事例数18)		
225 自由社	<p>①見開きごとに，タイトル下に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。</p> <p>②表紙や裏表紙に伝統的工芸品を紹介し，資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が7点ある。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが38点あり，古代6点，中世2点，近世5点，近代20点，現代5点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において，時代を象徴的に表す写真や絵図を用い，キャラクターの問いを交えて学習への興味・関心を高めている。⑤「序章 歴史のとらえ方」の「地域の歴史を調べる」において，「疑問を出し合おう」「現地に行ってみよう」など調べ学習のポイントを4点示している。</p> <p>⑥「〇〇の歴史を調べる」「人物を通して時代をとらえる」など，3事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ296「歴史のとらえ方」18（6%），「古代」56（19%），「中世」28（9%），「近世」44（15%），「近代」98（34%），「現代」28（9%），「その他」24（8%）6章構成。</p> <p>⑧各大項目に，「もっと知りたい」というコラムを設けている。（「岩宿遺跡を発見した相沢忠洋」等，事例数35）</p>	<p>⑨写真・絵図83点，地図12点，図表グラフ9点，年表1点，合計105点</p> <p>⑩毎時間，学習課題を示している。</p>	<p>⑪「中世をひとことでまとめ，それについて説明させる「ひとこと作文」という課題を設定している。【例：武士 戦乱 下剋上など】</p> <p>⑫章末などで，「ひとこと」作文やスピーチなど12種の方法でまとめさせる活動がある。</p>
227 育鵬社	<p>①見開きごとに，タイトル下に「どのような」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。</p> <p>②表紙や裏表紙に史跡などを紹介し，資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が3点ある。</p>	<p>④大項目の導入において，時代を象徴的に表す写真や絵図，年表を用い，キャラクターの問いを交えたり，「歴史絵巻」で，時代順に人物や出来事のイラストを並べたりして学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「課題学習」のコーナー</p>	<p>⑦総ページ303「歴史のとらえ方」7（2%），「古代」52（17%），「中世」32（11%），「近世」54（18%），「近代」98（32%），「現代」30（10%），「その他」30（10%）6章構成。</p> <p>⑧各大項目に，「このころ</p>	<p>⑨写真・絵図142点，地図17点，図表グラフ23点，年表3点，合計185点</p> <p>⑩毎時間，導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「この写真を見て当時の人々はどう思ったんだろう。」</p>	<p>⑪学習のまとめを手がかりに，時代の特色をノートにまとめ，話し合う課題を設定している。</p> <p>⑫章末などで，歴史人物Q&Aカード作りや，ロールプレイなど6種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

	<p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 34 点あり、古代 5 点、中世 2 点、近世 6 点、近代 17 点、現代 4 点の内訳である。</p>	<p>において、「調査に出かけてみよう」「調べたことをまとめてみよう」など、調べ学習の例を 3 点示している。</p> <p>⑥「歴史人物 Q&A カードをつくろう」「城を探検してみよう」など、7 事例を掲載している。</p>	<p>世界は」「歴史ズームイン」等のコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマを扱っている。（「ローマ帝国と日本の古墳時代」等、事例数 26）</p>		
229 学び舎	<p>①見開きごとに学習課題を示してはいないが、章ごとに「どのような」「どのように」という形で示している。</p> <p>②表紙や裏表紙に史跡などを紹介している。神話・伝承に関する事例が 2 点ある。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 44 点あり、古代 5 点、中世 6 点、近世 6 点、近代 16 点、現代 11 点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図を用いたり、それぞれの事象に関連する地図を示したりして学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「歴史への案内」のコーナーにおいて、「学芸員、説明員に積極的に質問してみよう」「写真は許可をえてから撮るようにしましょう」など地域の博物館での調べ学習のポイントを 4 点示している。</p> <p>⑥「歴史を楽しく学ぼう」「一人ひとりの歴史・家族の歴史」など、10 事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ 330「歴史のとらえ方」6（2%）、「古代」46（14%）、「中世」32（10%）、「近世」56（17%）、「近代」112（34%）、「現代」38（11%）、「その他」40（12%）6 部構成。</p> <p>⑧各大項目に、「歴史を体験する」というコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマでの体験学習を紹介している。また、歴史的事象との出会いの場面として巻頭の「歴史への案内」というコーナーを設定している。（「火と人類の歴史をさぐる」等、事例数 6）</p>	<p>⑨写真・絵図 163 点、地図 21 点、図表グラフ 13 点、年表 1 点、合計 198 点</p> <p>⑩各章のはじめに楽手素課題を示している。「世界大戦終結から 70 年、かつてない豊かな社会が現れました。国境を越えて、人・情報・商品・金が動いています。そこには光と影があり、大きな課題もあります。全地球の動きに、地域の動きに目を向けます。あなた自身も生きてきた、現在につながる現代の課題を考えましょう。あなたはどんな未来を切りひらくのでしょうか。」</p>	<p>⑪中世は、どのような人たちが力を持ち、どのような特色のある時代だったのかについて、前の時代と比べながらまとめる課題を設定している。</p> <p>⑫章末などで、ポスターや人物カードなど 8 種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（公民的分野）	7	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①学習課題の示し方 ②公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載事項	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用（「私たちと政治」の単元） ⑩本文以外の記述の工夫（選挙に関する単元）	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫（国際社会に関する単元） ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫（単元末のまとめ）
2 東書	①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その右横に、1時間で追究する課題を提示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数4点 ③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資	④大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。それぞれの写真に「どのような」「どうして」等の問いを掲載している。 ⑤持続可能な社会に関わる課題例は17、課題解決の手順は4つの段階で示されている。 ⑥ディベート、身近な地域	⑦総ページ253、「私たちと現代社会」28（11%）、「私たちと経済」50（20%）、「私たちと政治」84（33%）、「私たちと国際社会の諸問題」46（18%）、「その他」45（18%）で構成。 ⑧発展的な学習の事例数28点（「深めよう」8点、「公民にチャレンジ」20	⑨総掲載数260点（絵図81点、写真100点、地図4点、表・グラフ60点、新聞12点、年表3点） ⑩キャラクターによる吹き出しで、「現在の選挙はどのように行われているのかな。」と記載している。見開き2ページの終わりに「確認」のコーナーを設け、学習内容の確認や	⑪「深めよう」を設け、現代社会の問題を考察させている。 ⑫「この章の学習を確認しよう」で、用語を使って説明させたり、文の空欄を埋めさせたりして、学んだことや自分の考えたことを表現させるページを設けている。

	料として、日本の領域と排他的経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。	の調査など、25 事例を掲載している。	点)	さらに深める課題を示している。	
17 教出	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その横にサブタイトルを示している。タイトルの下に、1 時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数 5 点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の国土とその周辺、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>④大単元の導入において、1 ページに 3 枚の写真を掲載している。写真の下部に、説明文とともに、写真の内容に関する項目ページ数を示している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関する課題例は 12、課題解決のための手順は 3 つの段階で示されている。</p> <p>⑥新聞記事のスクラップの作成、ディベートなど、7 事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ 255、「私たちと現代社会」22 (9%)、「私たちと経済」60 (23%)、「私たちと政治」84 (33%)、「私たちと国際社会の諸問題」38 (15%)、「その他」51 (20%) で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数 12 点（「読んで深く考えよう」6 点、「言葉で伝え合おう」6 点）</p>	<p>⑨総掲載数 241 点（絵図 63 点、写真 102 点、地図 4 点、表・グラフ 61 点、新聞 7 点、年表 4 点）</p> <p>⑩キャラクターによる吹き出しで、「投票所には、どんな人がいるのかな」と記載している。見開き 2 ページの終わりの「ふりかえる」というコーナーに、ステップ 1、ステップ 2 を設け、内容の確認や説明を行わせる課題を示している。</p>	<p>⑪「読んで深く考えよう」、「読み解こう」を設け、現代社会の問題を考察させている。</p> <p>⑫「学習のまとめと表現」で、用語を使って説明させたり、資料を用いて考えたことを表現させたりするページを設けている。</p>

<p>35 清水</p>	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その左横に、1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗、国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領土と経済水域、竹島、北方領土を取り上げている。</p>	<p>④大単元の導入において、1ページに2枚の写真と説明文を掲載している。ページの下部に人物の写真と、その人物の著作等からの引用文を示している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は7、課題解決の手順は5つの段階で示されている。</p> <p>⑥各政党の政策調べ、首相の動静調べなど、23事例を掲載している</p>	<p>⑦総ページ229、「私たちと現代社会」18(8%)、「私たちと経済」62(27%)、「私たちと政治」74(32%)、「私たちと国際社会の諸問題」28(12%)、「その他」47(21%)で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数23点(「もっと知りたい公民」12点、「深める公民」11点)</p>	<p>⑨総掲載数132点(絵図32点、写真69点、地図3点、表・グラフ24点、新聞3点、年表1点)</p> <p>⑩キャラクターによる吹き出しで、「いまでは普通選挙が当たり前のことのように思えるけど、財産や性別によって選挙権が制限されていた時代もあったのかしら？」と記載している。</p> <p>まとめとして「調査」というコーナーを設け、なしあったり説明したりする視点を示している。</p>	<p>⑪「深める公民」、「もっと知りたい公民」を設け、現代社会の問題を考察させている。</p> <p>⑫「次のことばについて説明しよう」で、学んだ用語の説明をさせている。</p>
<p>46 帝国</p>	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その右横に、1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資</p>	<p>④大単元の導入において、1ページに1枚の写真と説明文を掲載している。写真の下には、大単元の概要及び問いを掲載している。「30年前の今と昔を比較してみよう」等を設け、絵図や問いを掲載している。大単元において終章を配置している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に</p>	<p>⑦総ページ241、「私たちと現代社会」28(12%)、「私たちと経済」60(25%)、「私たちと政治」74(31%)、「私たちと国際社会の諸問題」42(17%)、「その他」37(15%)で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数12点(「トライアル」7点、「未来に向けて」5点)</p>	<p>⑨総掲載数217点(絵図71点、写真83点、地図1点、表・グラフ49点、新聞13点、年表0点)</p> <p>⑩?マークの横に「議員1人あたりの有権者数に差があることは何が問題なのでしょうか。」と記載している。</p> <p>見開き2ページの終わりに「確認しよう」「説明し</p>	<p>⑪「やってみよう」、「未来に向けて」を設け、現代社会の問題を考察させている。</p> <p>⑫「学習をふりかえろう」で、学んだことに関する資料を見て、読み取ったことや予想したことを表現させるページを設けている。</p>

	料として、排他的経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。	関わる課題例は11、課題解決の手順は4つの段階で示されている。 ⑥ロールプレイング、ディベートなど、12事例を掲載している。		よう」というコーナーを設け、内容の確認や説明を行わせる課題を示している。	
116 日文	①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その左横に、1時間で追究する課題を提示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数6点 ③国旗、国歌に関しては、タイトル「国歌と主権」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領域と経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。	④大単元の導入において、1ページに1枚の写真を掲載し、写真の下には、大単元の概要を記載し、写真の説明や問いを掲載している。 ⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は49、課題解決の手順は4つの段階で示されている。 ⑥テーマに基づく話し合い、ブレインストーミングなど17事例を掲載している。	⑦総ページ263、「私たちと現代社会」30(12%)、「私たちと経済」56(21%)、「私たちと政治」88(33%)、「私たちと国際社会の諸問題」41(16%)、「その他」48(18%)で構成。 ⑧発展的な学習の事例数30点(「アクティビティ」18点、「明日に向かって」8点、「チャレンジ公民」4点)	⑨総掲載数271点(絵図98点、写真95点、地図6点、表・グラフ51点、新聞17点、年表4点) ⑩キャラクターによる吹き出しで、「投票に多くの人がかかわるのはなぜだろうか。」と記載している。見開き2ページの終わりに「学習の確認と活用」というコーナーを設け、内容をまとめたり、説明させたりする課題を示している。	⑪「チャレンジ公民」、「アクティビティ」を設け、現代社会の問題を考察させている。 ⑫「学習の整理と活用」で、関連ページの振り返りをさせたり、「合意を考えるための問題」を用意し、自分で判断させ、その理由を表現させたりするページを設けている。
225 自由社	①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その下に、1時間で追究する課題を提示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点	④大単元の導入において、1ページにイラストと単元の内容の問いを掲載している。 ⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は6、解決の手順は4つの段階で示	⑦総ページ237、「私たちと現代社会」36(15%)、「私たちと経済」36(15%)、「私たちと政治」70(30%)、「私たちと国際社会の諸問題」52(22%)、「その他」43(18%)で	⑨総掲載数121点(絵図43点、写真58点、地図1点、表・グラフ19点、新聞0点、年表0点) ⑩学習課題を記載している。他の単元では、吹き出しによる問いを記載し	⑪「もっと知りたい」を設け現代社会の問題を考察させている。 ⑫「学習のまとめと発展」で、学習内容に関する複数の課題から選択して、400字でまとめ表現させ

	<p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領域、経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>されている。</p> <p>⑥ディベート、新聞調など、2事例を掲載している。</p>	<p>構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数 21点（「もっと知りたい」21点）</p>	<p>ている。</p> <p>まとめに「ここがポイント」というコーナーを設け、学習した内容のポイントとをまとめて記述している。</p>	<p>るページを設けている。</p>
<p>227 育鵬社</p>	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その下に、1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗、国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領域、竹島、北方領土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>④大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載し、写真の説明や問いを掲載している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は13、解決の手順は5つの段階で示されている。</p> <p>⑥ディベート、裁判の膨張など11事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ253、「私たちと現代社会」34(13%)、「私たちと経済」50(20%)、「私たちと政治」78(31%)、「私たちと国際社会の諸問題」45(18%)、「その他」46(18%)で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数18点（「やってみよう」6点、「考えよう」4点、「理解を深めよう」8点）</p>	<p>⑨総掲載数236点（絵図90点、写真91点、地図2点、表・グラフ33点、新聞19点、年表1点）</p> <p>⑩キャラクターによる吹き出しで、「どのように投票すればいいのかな。」と記載している。</p> <p>まとめに学習内容の理解を確認したり、深めたりする課題が設けられている。</p>	<p>⑪「理解を深めよう」、「考えよう」を設け、現代社会の問題を考察させている。</p> <p>⑫「学習のまとめ」で、資料を読み取って表現させたり、具体的な政策等について考えまとめさせたりするページを設けている。</p>

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	地図	2	3

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	⑥題材や資料等の配列	⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫 ⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
2 東書	①巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載し、巻末ページの「地形図の比較」で、地図記号を示している。また、巻頭に「この地図帳の活用方法」を設けている。さらに、世界や日本の一般地図ごとに「注目したい記号」を記載している。 ②「日本の周辺」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。歴史的事象については、巻末の「資料さくいん」に歴史の項目を入れるとともに、日本の諸地域で、歴史に関	④資料についての理解を促し、考察を深められるように読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを記載している。 ⑤世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。	⑥総ページ183 「世界の資料図」12(7%) 「世界の諸地域」54(29%) 「日本の諸地域」58(32%) 「日本の資料図」25(14%) 「統計」10(5%) 「その他」24(13%)	⑦世界全図…赤道上の距離を示している。 南北アメリカ…4500万分の1 東アジア…1600万分の1 朝鮮半島…500万分の1 日本全体…550万分の1 中国地方…100万分の1 広島市周辺・岡山市周辺…50万分の1 南西諸島…550万分の1	⑧ヨーロッパを例にして「この地図帳の活用方法」を巻頭に記載している。一般図を記載し、国旗、ページ番号、インデックス、位置図、タイトル、さくいん記号などについての解説を記載している。「ヨーロッパ州の基本資料」「テーマ資料」を記載している。キャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。 ⑨読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを19か所設けている。

	<p>する資料の掲載が7か所ある。</p> <p>③環境については、「世界の環境②」で様々な環境問題を2ページにわたって取り上げるとともに、「日本の自然環境（災害・環境問題）」を2ページにわたって掲載している。また、「環境，防災・安全」の項目で，18の資料を掲載している。</p> <p>国際理解については，日本と世界の結び付きに関する15の資料が掲載されている。</p>				
46 帝国	<p>①巻頭ページに「この地図帳の記号凡例」を記載し，「国土地理院の地形図を読み取ろう」で，「地形図の主な記号」を記載している。また，巻頭に「この地図帳の使い方」を設けている。さらに，地図を見る上での着眼点を示した「地図を見る目」を記載している。</p> <p>②「日本の位置と周りの国々」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。歴史的事象については，日本の諸地域で，歴史に関する資料の掲載が14か所ある。</p> <p>③環境については，「世界の環境問題」「日本の地形と守りたい自然環境」「日本</p>	<p>④地図活用のスキルが身に着くよう，また，地図への着眼点が理解できるように，地図を見る上での着眼点を示した「地図を見る目」，地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」を記載している。</p> <p>⑤世界では州ごと，日本では地方ごとに，基本図の次に資料図を掲載している。</p>	<p>⑥総ページ176</p> <p>「地図の使い方と世界の資料図」15（9%）</p> <p>「世界の諸地域」56（32%）</p> <p>「日本の諸地域」64（36%）</p> <p>「日本の資料図」17（9%）</p> <p>「統計」9（5%）</p> <p>「その他」15（9%）</p>	<p>⑦世界全図…1億1600万分の1，赤道上の長さを示している。</p> <p>南北アメリカ…4500万分の1</p> <p>東アジア…1600万分の1</p> <p>朝鮮半島…300万分の1</p> <p>日本列島…400万分の1</p> <p>中国地方…100万分の1</p> <p>広島市周辺…50万分の1</p> <p>南西諸島…400万分の1</p>	<p>⑧オーストラリアを例にして「この地図帳の使い方」が巻頭に記載している。一般図を記載し，ページのタイトルと縮尺，隣接ページ，さくいん記号，インデックス，緯線，経線，学習課題，記号の凡例などについての解説を記載している。「オセアニア州の資料図」についての解説を記載している。囲み文やキャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。</p> <p>⑨地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」というコーナーを47か所設けている。</p>

	<p>の災害と防災」をそれぞれ2ページにわたって掲載している。また、環境問題に関する9の資料を掲載している。さらに、防災に関する4つの資料を掲載している。国際理解については、「日本との結び付き」として、11の資料を掲載している。</p>				
--	--	--	--	--	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	数学	7	10

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	1年 「文字と式」 ◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について ○ 章の最初のページにこの章で何を学習するかを明記している。 ○ 「例」と「問」の間に「たしかめ」を置いている。「たしかめ」では、「例」と同じ形式で数値のみを変えた問題を設け、「例」と「問」の段差によるつまづきを解消し、基礎・基本が確実に身につくようにしている。 ○ 「まちがい例」では、多く見られる誤答例を取り上げ、誤りを見つけ正しく直すことで、同じ誤りをくり返さないようにしている。 ○ 巻末解答の「まちがいなおし」では、間違えたところや正しい例が確認できるようにしている。 ○ 「ちょっと確認」では、既習事項のうちその時に必要となる考えを取り上げ、分からなければ確認できるようにしている。 ○ 巻末の「補充の問題」では、	3年 「円」 ◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について ○ 円周角、中心角との関係など円の性質を考えるための問題として提示している。(調べてみよう、考えてみよう) ○ 学びをいかす「活用の問題」では、大工道具「さしがね」の特徴を示し、線分PQが丸太の直径になる理由を考えさせている。 ○ 「数学をひろげる」では、「円に内接する四角形の性質」、「接弦定理」を考えさせる問題が提示されている。 ○ 「やってみよう」で、学習したことを深めたり広げたりする内容や数学や身近なことから活用する内容や、自分の考えを説明する内容が取り上げてあり、主体的に取り組む工夫がされている。(平方根の長さを書かせる問題) ○ 問題解決的な問題の数と具体例 B：各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問	◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について <1年> 1 正負の数 44P 2 文字と式 30P 3 方程式 22P 4 比例と反比例 36P 5 平面図形 32P 6 空間図形 34P 7 資料の分析と活用 21P 巻末問題 11P ・正多面体模型 ・日本の伝統、文化と数学 <2年> 1 式の計算 24P 2 連立方程式 22P 3 1次関数 36P 4 平行と合同 31P 5 三角形と四角形 34P 6 確率 19P 巻末問題 14P ・図形の性質 発見器 ・全国の算額 <3年> 1 多項式 30P 2 平方根 28P 3 2次方程式 24P 4 関数 $y = ax^2$ 30P	2年 「1次関数」 ◆イラスト、写真の数と具体例 ○イラスト数 11 ・円柱の形をした水槽に、深さ3cmのところまで水が入っていて、1分間に深さが2cmずつ増加する図 ・台形ABCDの上底と下底をそれぞれ動点P、Qが動くときの4点A、B、Q、Pを結んでできる図形の変化の図など ○写真数 6 ・東京都文京区の道路標識 ・河口湖と富士山 ・カーフェリーとジェットfoil ・国営昭和記念公園 ・時刻表 ・福岡県内を走る電車	◆数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動ができるように工夫している。 <具体例> ○2年 「文字式の利用」カレンダーの数をいろいろなに囲んで、囲んだ数の和の性質を見つけ、その性質が成り立つわけを説明し伝え合う言語活動ができるようにしている。 ◆ノート指導やレポート作成、伝え合う活動の取り扱い、記載例、記述ページ数について <扱い> ○各学年の巻頭の「学習の進め方」で、ノート指導を扱っている。また、その具体例として1章末に「数学マイノート」のページを設け、実際の生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。 ○各学年の以下の章末において「レポートにまとめよう」として、実際の生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。 ○各学年の以下の章末において「学び合い」として、自力解決から意見交流、さらに学習を深めるという学習展開を説明している。 <記載例>

	<p>「問」と対応した問題をくり返し練習することで、基礎・基本が確実に身に付くようにしている。【49問】</p> <p>○ 少し難易度が高い問題については、星印(★)を明記している。【9問】</p> <p>○ 節末の「基本の問題」、巻末の「補充の問題」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。【78問】</p>	<p>題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた発展的な問題等</p> <p>※ () は、伝統と文化、環境保全等に関する問題</p> <p><1年> B 3 2 (4) B 水の節約を考えよう</p> <p><2年> B 3 2 (0) B みんなで使える施設を考えよう</p> <p><3年> B 4 4 (2) B 調理器具の中の数学</p> <p>○ 円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題…3</p> <p>○ ヒントやポイントを示した吹き出しの数(1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」)</p>	<p>5 相似な図形 3 8 P 6 円 1 8 P 7 三平方の定理 2 2 P 8 標本調査 1 3 P 巻末問題 1 4 P</p> <p>・因数分解パズル ・科学や技術をささえる数学</p> <p>○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。</p> <p>○ 3年2次方程式の解法が、「平方根の考え」→「解の公式」→「因数分解」の配列になっている。</p> <p>○ 発展的な問題の数と具体例 A: 該当学年の学習指導要領に示されていない内容 B: 各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた発展的な問題等</p> <p>※ () は、伝統と文化、環境保全等に関する問題</p> <p><1年> A 2 B 3 2 (7) A 球の体積と表面積の関係 B 水の節約を考えよう</p> <p><2年> A 4 B 3 2 (4) A 3元1次連立方程式 B 桜の開花日を予想しよう</p> <p><3年> A 1 0 B 4 4 (3) A 円周角を動かすと? B 調理器具の中の数学</p>		<p>・ノート指導 「板書を書き写すだけでなく、自分や友達の考えや学んだことがわかるノートにしよう」</p> <p>・レポート作成 「授業で調べたことや、さらにやってみたいと思ことをレポートにまとめよう」</p> <p>・伝え合う活動 「話し合ってみよう」、「振り返ってまとめをしよう」</p> <p><記述ページ数></p> <p>・ノート指導 各学年1章末において2P</p> <p>・レポート作成(各2P) 1学年『7章 資料の分析と活用』 2学年『3章 1次関数』 3学年『7章 三平方の定理』</p> <p>・伝え合う活動 1学年 1, 2, 5の各章で2P 2学年 1, 3, 4の各章で2P 3学年 1, 5の各章で2P</p>
<p>4 大日本</p>	<p>1年 「文字と式」</p> <p>◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について</p> <p>○ 学習した内容を深めたり、調べたりするきっかけとなる話題や問題が提示されている。(深めよう、読み取ろう、説明しよう、表現しよう)</p>	<p>3年 「円」</p> <p>◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について</p> <p>○ 「円の性質の利用」では、日常な場面で円の性質を利用する問題が提示されている。(さしがねの利用)</p> <p>○ 「考えてみよう」では、円周</p>	<p>◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について</p> <p><1年></p> <p>1 正の数、負の数 4 9 P 2 文字と式 3 6 P 3 1次方程式 2 6 P 4 量の変化と比例、反比例 3 7 P</p>	<p>2年 「1次関数」</p> <p>◆イラスト、写真の数と具体例</p> <p>○ イラスト数 16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水がいくらか入っている深さが25cmの円柱の容器に、一定の割合で水を入れる図 ・マッチ棒を使って正方形をつくる図 など <p>○ 写真数 6</p>	<p>◆数や図形の性質を予想し、数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動ができるように工夫している。</p> <p><具体例></p> <p>○ 2年 「式の利用」 A+Bはどんな数の倍数になるかを予想し、予想したことを文字を使って説明し伝え合う言語活動ができ</p>

<p>○ 最初に学習のねらいを示して、具体的な学習活動を明記している。</p> <p>○ 「プラス・ワン」を「Q」の横に設け、さらに練習するための問題を設けている。【20問】</p> <p>○ 節末の「練習」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。【96問】</p>	<p>を12等分した点を結び三角形を作った時の角の大きさについて考える問題が提示されている。</p> <p>○ 「もっと数学！」では、「円に内接する四角形の性質」、「接弦定理」、「方べきの定理」を考えさせる問題が提示されている。</p> <p>○ 問題解決的な問題の数と具体例</p> <p><1年> B 3 3 (2) B 方程式と和算</p> <p><2年> B 4 7 (2) B 二酸化炭素と地球の温暖化</p> <p><3年> B 8 5 (0) B フィボナッチ数</p> <p>○ 円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題…2</p> <p>○ ヒントやポイントを示した吹き出しの数(1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」)</p>	<p>5 平面の図形 3 4 P</p> <p>6 空間の図形 4 3 P</p> <p>7 資料の整理と活用 2 3 P</p> <p>巻末問題 1 1 P</p> <p>・正多面体を作ろう</p> <p>・折り紙でできる立体</p> <p><2年></p> <p>1 式と計算 2 7 P</p> <p>2 連立方程式 2 8 P</p> <p>3 1次関数 3 7 P</p> <p>4 平行と合同 3 6 P</p> <p>5 三角形と四角形 3 7 P</p> <p>6 確率 2 3 P</p> <p>巻末問題 8 P</p> <p>・模型を作って動かしてみよう</p> <p>・2年で学習した図形の性質</p> <p><3年></p> <p>1 多項式 3 6 P</p> <p>2 平方根 3 0 P</p> <p>3 2次方程式 2 2 P</p> <p>4 関数 3 3 P</p> <p>5 相似と比 4 1 P</p> <p>6 円 1 8 P</p> <p>7 三平方の定理 2 8 P</p> <p>8 標本調査 1 5 P</p> <p>巻末問題 1 5 P</p> <p>・三平方の定理</p> <p>・3年で学習した図形の性質</p> <p>○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→代入法→加減法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。</p> <p>○ 3年2次方程式の解法が、「因数分解」→「平方根の考え」→「解の公式」の配列になっている。</p> <p>○ 発展的な問題の数と具体例</p> <p><1年> A 8 B 3 3 (2) A マイナスの指数 B 方程式と和算</p> <p><2年> A 3 B 4 7 (2) A 3つの文字をふくむ連立方程式 B 二酸化炭素と地球の温暖</p>	<p>・由布院駅</p> <p>・長方形の紙を折る様子</p> <p>・二等辺三角形をつくっている様子</p> <p>・公園</p> <p>・ガスバーナーを用いて水を熱している様子</p> <p>・上越・長野新幹線の時刻表</p>	<p>るようになっている。</p> <p>◆ ノート指導やレポート作成、伝え合う活動の取り扱い、記載例、記述ページ数について</p> <p><扱い></p> <p>○ 各学年の巻頭の「ノートのつくり方」で、実際の生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。</p> <p>○ 各学年の以下の章末において「レポートを書こう」として、実際の生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p> <p>○ 各学年の各単元内において「伝えよう」として、自力解決から意見交流、さらに学習を深めるという学習展開を説明している。</p> <p><記載例></p> <p>・ ノート指導 「板書を書き写すだけでなく、自分や友達の考えや学んだことがわかるノートにしよう」</p> <p>・ レポート作成 「授業で調べたことや、さらにやってみようと思ことをレポートにまとめよう」</p> <p>・ 伝え合う活動 「話し合ってみよう」、「振り返ってまとめをしよう」</p> <p><記述ページ数></p> <p>・ ノート指導 各学年の巻頭において1P</p> <p>・ レポート作成(各1P) 1学年『2章 文字と式』 2学年『4章 平行と合同』 3学年『5章 相似と比』</p> <p>・ 伝え合う活動 1学年 6P 2学年 4P 3学年 9P</p>
--	--	--	---	---

			化 <3年>A9 B85(8) A 三角形の重心 B フィボナッチ数		
11 学図	1年 「文字式」 ◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について ○本文中の導入問題や例題で、小学校算数やこれまでの学習を適宜振り返ることができるように、側注として「ふりかえり」を提示している。 ○問と側注の「やってみよう」という振り出しは、章末の「計算力を高めよう」と関連付けられている。 ○章のまとめの問題では、習熟度に応じて取り組めるように、問題の程度によって基本、応用、活用に分かれている。 ○巻末の「1年の復習」では、基礎・基本となる問題には緑の下線が引いている。【16/26】 ○節末の「確かめよう」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。【42問】	3年 「円」 ◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について ○「円周角の定理の利用」では、長方形になる理由、円の中心の求め方に関する問題が提示されている。 ○「課題学習・自由研究」では、「動かして考えよう」という題材で「接弦定理」、「円に内接する四角形の性質」を考えさせる問題が提示されている。 ○「やってみよう」で、学習したことを深めたり広げたりする内容や数学や身近なことから活用する内容や、自分の考えを説明する内容が取り上げられており、主体的に取り組む工夫がされている。(船の位置を求めよう) ○問題解決的な問題の数と具体例 <1年>B44(2) B 車いすと段差 <2年>B38(3) B 関数で考える環境問題～年平均気温の変化～ <3年>B37(3) B 地球温暖化と水不足の危機 ○円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題…2 ○ヒントやポイントを示した吹き出しの数(1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」)	◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について <1年> 1 正の数・負の数 48P 2 文字式 30P 3 1次方程式 33P 4 比例と反比例 37P 5 平面図形 32P 6 空間図形 37P 7 資料の活用 24P 巻末問題 8P ・カードゲーム ・アルキメデス <2年> 1 式の計算 26P 2 連立方程式 27P 3 1次関数 37P 4 図形の性質の調べ方 34P 5 三角形・四角形 33P 6 確率 22P 巻末問題 7P ・図形の性質のまとめ ・ユークリッド・ターレス <3年> 1 式の計算 34P 2 平方根 26P 3 2次方程式 25P 4 関数 $y = ax^2$ 34P 5 相似な図形 38P 6 円 22P 7 三平方の定理 25P 8 標本調査 16P 巻末問題 18P ・図形の性質のまとめ ・ピタゴラス ○2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。	2年 「1次関数」 ◆イラスト、写真の数と具体例 ○イラスト数 7 ・14cmの線香が一定の割合で短くなる図 ・底辺が4cm、高さが3cmの直角三角形の周上を点Pが動くときの△PBCの形が変化する様子など ○写真数 9 ・沖縄県の玉泉洞 ・鍾乳石の様子 ・ジェット機の離陸 ・勾配の道路標識 ・千葉県立館山 野鳥の森のスロープ ・ピーカーで水を熱する様子 ・80℃の湯を冷ます様子 ・列車のダイヤグラム ・新車	◆学習内容を振り返り、数学的活動のよさについて考え、その考えを伝え合う言語活動を取り入れている <具体例> ○2年 「式の利用」 「連続する3つの整数」、「2桁の自然数」、「偶数、奇数」、「3の倍数」などは文字を使ってどのように表すことができるか、文字式を使った説明のよさについて考え、そのよさを伝え合う活動ができるようにしている。 ◆ノート指導やレポート作成、伝え合う活動の取り扱い、記載例、記述ページ数について <扱い> ○各学年の巻頭の「ノートの使い方」で、実際の生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。 ○各学年の巻末において「レポートの作成」として、実際の生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。 ○各学年の各単元内において「伝える」として、自力解決から意見交流、さらに学習を深めるという学習展開を説明している。また、巻末では、「発表のしかた」として、発表する側と発表を聴く側に分けて留意点を説明している。 <記載例> ・ノート指導 「授業の中でどんなことを考え、どんな筋道で解決したのかがわかるようなノートを目指しましょう」 ・レポート作成 「レポートにまとめることで、学習したこと以外に新たな発見をしたり、疑問が

			<p>○ 3年2次方程式の解法が、「因数分解」→「平方根の考え」→「解の公式」の配列になっている。</p> <p>○発展的な問題の数と具体例 <1年>A7 B44 (4) A カレンダーの数の秘密を考えよう B 車いすと段差 <2年>A6 B38 (3) A 期待値とは？ B 関数で考える環境問題～年平均気温の変化～ <3年>A13 B37 (7) A 動かして考えよう B 地球温暖化と水不足の危機</p>		<p>生まれたりします」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う活動 「話し合ってみましょう」, 「理由を説明しなさい」 <p><記述ページ数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 各学年の巻頭において1P ・レポート作成 各学年の巻末において3P ・伝え合う活動 1学年 32P 2学年 16P 3学年 17P 																										
17 教出	<p>1年 「文字と式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について ○ 章の最初のページにこの章で何を学習するかを明記している。 ○ 章の最初に確認事項としての問題を設けている。【4問】 ○ 章末の問題には、4つの観点が明記されている。 ○ 例題で説明したことを確認するための問題として、「たしかめ」と明記している。 ○ 「たしかめ」の補習問題として、どこをすればよいかを明記している。…巻末問題につながっている。 ○ 既習事項で定着していない内容には、「もどって確認」で取り上げている。 ○ 問として、計算を間違えている問題載せて、どこを間違えているのかを考えさせる問題を明記している。 ○ 章の最後には、 ○ 章末の「学習のまとめ」では、 	<p>3年 「円」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について ○「チャレンジコーナー」では、円周を12等分した点を結んだときの角の大きさ、円の中心の求め方についての問題が提示されている。 ○「円周角の定理の活用」では、長方形になる理由、円の中心の求め方に関する問題が提示されている。 ○「ジャンプ」では、円のいろいろな性質という題材で「接弦定理」、「円に内接する四角形の性質」、「方べきの定理」を考えさせる問題が提示されている。 ○問題解決的な問題の数と具体例 <1年>B29 (1) B 一筆書き <2年>B27 (1) B ダイアグラム <3年>B33 (1) B 大気中の二酸化炭素の濃 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について <p><1年></p> <table border="0"> <tr><td>1 正の数、負の数</td><td>48P</td></tr> <tr><td>2 文字と式</td><td>36P</td></tr> <tr><td>3 方程式</td><td>32P</td></tr> <tr><td>4 比例と反比例</td><td>36P</td></tr> <tr><td>5 平面図形</td><td>40P</td></tr> <tr><td>6 空間図形</td><td>34P</td></tr> <tr><td>7 資料の整理と活用</td><td>24P</td></tr> </table> <p>巻末問題 22P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角錐と角柱の体積の関係を調べる立体模型 ・小学算数のまとめ <p><2年></p> <table border="0"> <tr><td>1 式の計算</td><td>28P</td></tr> <tr><td>2 連立方程式</td><td>26P</td></tr> <tr><td>3 1次関数</td><td>38P</td></tr> <tr><td>4 平行と合同</td><td>38P</td></tr> <tr><td>5 三角形と四角形</td><td>38P</td></tr> <tr><td>6 確率</td><td>20P</td></tr> </table> <p>巻末問題 15P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の移動 ・エッセイに挑戦 <p><3年></p>	1 正の数、負の数	48P	2 文字と式	36P	3 方程式	32P	4 比例と反比例	36P	5 平面図形	40P	6 空間図形	34P	7 資料の整理と活用	24P	1 式の計算	28P	2 連立方程式	26P	3 1次関数	38P	4 平行と合同	38P	5 三角形と四角形	38P	6 確率	20P	<p>2年 「1次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イラスト、写真の数と具体例 ○イラスト数 12 <ul style="list-style-type: none"> ・深さが20cmの水槽にはじめに、5cmの高さまで水が入った水槽に、1分間に2cmの割合で水を入れる図 ・底が階段状になっている水槽に、一定の割合で水を入れる図など ○写真数 3 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道のダイヤ ・ピーカーで水を熱している様子 ・学校や駅などのスロープ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな規則や性質を見つけ発展させる、日常生活や社会で数学を利用する、筋道を立てて自分の考えを説明し伝え合う、この3つの視点を意識した学習活動が取り入れられている。 <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2年 「式の活用」 連続する3つの整数の和は3の倍数になる説明を、例示されている生徒の考え方を説明したり、それぞれの考え方のよさについて話し合ったりすることで、伝え合う活動ができるようにしている。 ◆ノート指導やレポート作成、伝え合う活動の取り扱い、記載例、記述ページ数について<扱い> ○各学年の巻頭の「ノートの工夫」で、実際の生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。 ○各学年の一部の章末において「みんなで数学」として、予想から問題解決し、さらに自分の考えを筋道を立てて説明し合う学習
1 正の数、負の数	48P																														
2 文字と式	36P																														
3 方程式	32P																														
4 比例と反比例	36P																														
5 平面図形	40P																														
6 空間図形	34P																														
7 資料の整理と活用	24P																														
1 式の計算	28P																														
2 連立方程式	26P																														
3 1次関数	38P																														
4 平行と合同	38P																														
5 三角形と四角形	38P																														
6 確率	20P																														

	<p>学習のまとめとして穴埋め形式の問題を設けており、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。【15問】</p>	<p>度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題…2 ○ヒントやポイントを示した吹き出しの数（1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」） 	<table border="0"> <tr><td>1 式の計算</td><td>36P</td></tr> <tr><td>2 平方根</td><td>28P</td></tr> <tr><td>3 2次方程式</td><td>22P</td></tr> <tr><td>4 関数 $y = ax^2$</td><td>32P</td></tr> <tr><td>5 相似な図形</td><td>44P</td></tr> <tr><td>6 円</td><td>22P</td></tr> <tr><td>7 三平方の定理</td><td>24P</td></tr> <tr><td>8 標本調査</td><td>16P</td></tr> <tr><td>巻末問題</td><td>20P</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の証明 ・図形のまとめ ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、「因数分解」→「平方根の考え」→「解の公式」の配列になっている。 ○ 発展的な問題の数と具体例 <table border="0"> <tr><td><1年> A 3 B 2 9 (2)</td></tr> <tr><td>A 不等式</td></tr> <tr><td>B 一筆書き</td></tr> <tr><td><2年> A 4 B 2 7 (1)</td></tr> <tr><td>A 立方体の切り口</td></tr> <tr><td>B ダイアグラム</td></tr> <tr><td><3年> A 1 2 B 3 3 (1)</td></tr> <tr><td>A 三角形の重心</td></tr> <tr><td>B 大気中の二酸化炭素の濃度</td></tr> </table>	1 式の計算	36P	2 平方根	28P	3 2次方程式	22P	4 関数 $y = ax^2$	32P	5 相似な図形	44P	6 円	22P	7 三平方の定理	24P	8 標本調査	16P	巻末問題	20P	<1年> A 3 B 2 9 (2)	A 不等式	B 一筆書き	<2年> A 4 B 2 7 (1)	A 立方体の切り口	B ダイアグラム	<3年> A 1 2 B 3 3 (1)	A 三角形の重心	B 大気中の二酸化炭素の濃度		<p>展開になっている。</p> <p><記載例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 「先生の説明やほかの人の発言で、大切だと思ったことを書いておこう」、「自分で考えたことや気付いたことを書いておこう」 ・伝え合う活動 「それぞれどんなよさがあるか話し合ってみましょう」、「予想が正しいことを、文字を使って説明しなさい」 <p><記述ページ数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 各学年の巻頭において2P ・伝え合う活動 『みんなで数学』以下の章に掲載 <table border="0"> <tr><td>1学年</td><td>1, 2, 3, 5, 6, 7</td></tr> <tr><td>2学年</td><td>1, 3, 4, 6</td></tr> <tr><td>3学年</td><td>1, 2, 4, 5, 8</td></tr> </table>	1学年	1, 2, 3, 5, 6, 7	2学年	1, 3, 4, 6	3学年	1, 2, 4, 5, 8
1 式の計算	36P																																					
2 平方根	28P																																					
3 2次方程式	22P																																					
4 関数 $y = ax^2$	32P																																					
5 相似な図形	44P																																					
6 円	22P																																					
7 三平方の定理	24P																																					
8 標本調査	16P																																					
巻末問題	20P																																					
<1年> A 3 B 2 9 (2)																																						
A 不等式																																						
B 一筆書き																																						
<2年> A 4 B 2 7 (1)																																						
A 立方体の切り口																																						
B ダイアグラム																																						
<3年> A 1 2 B 3 3 (1)																																						
A 三角形の重心																																						
B 大気中の二酸化炭素の濃度																																						
1学年	1, 2, 3, 5, 6, 7																																					
2学年	1, 3, 4, 6																																					
3学年	1, 2, 4, 5, 8																																					
<p>61 啓林館</p>	<p>1年 「文字の式」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について ○ 章の最初のページにこの章で何を学習するかを明記している。 ○ 系統性を考え、既習の内容をもとに新しい学習内容へとスムーズに発展していけるように、「ひろげよう」を設定している。 ○ 例については、具体的に何について学習するかを明記し 	<p>3年 「円の性質」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について ○「円の性質の利用」では、身のまわりに広げようという観点（地理、生活）での問題が提示されている。 ○「千思万考」では、円の性質を使った\sqrt{n}の作図の問題が提示されている。 ○「ひろがる数学」では、「円に内接する四角形の性質」、「接弦定理」、「方べきの定理」を 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について <p><1年></p> <table border="0"> <tr><td>1 正の数・負の数</td><td>41P</td></tr> <tr><td>2 文字の式</td><td>26P</td></tr> <tr><td>3 方程式</td><td>24P</td></tr> <tr><td>4 変化と対応</td><td>31P</td></tr> <tr><td>5 平面図形</td><td>30P</td></tr> <tr><td>6 空間図形</td><td>34P</td></tr> <tr><td>7 資料の活用</td><td>23P</td></tr> <tr><td>巻末問題</td><td>16P</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・とびだす立方体 ・正十二面体の展開図 	1 正の数・負の数	41P	2 文字の式	26P	3 方程式	24P	4 変化と対応	31P	5 平面図形	30P	6 空間図形	34P	7 資料の活用	23P	巻末問題	16P	<p>2年 「一次関数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イラスト、写真の数と具体例 ○イラスト数 10 <ul style="list-style-type: none"> ・気温が地上から10kmまでは、高度が1km増すごとに6℃ずつ低くなる熱気球の図 ・100m進むと10m上る坂であることを示す道路標識の図など ○写真数 2 <ul style="list-style-type: none"> ・稲光の様子 ・ガスバーナーで水を熱している様子 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習内容を振り返り、数学的活動のよさについて考え、その考えを伝え合う言語活動を取り入れている。 <p><具体例></p> <ul style="list-style-type: none"> ○2年 「文字式の利用」 2桁の正の整数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数との和は、11の倍数になる。この問題で和を差にかえると、どんなことがいえるか文字式を使って説明するよさについて考え、そのよさを伝え合う活動ができるようにしている。 																	
1 正の数・負の数	41P																																					
2 文字の式	26P																																					
3 方程式	24P																																					
4 変化と対応	31P																																					
5 平面図形	30P																																					
6 空間図形	34P																																					
7 資料の活用	23P																																					
巻末問題	16P																																					

<p>ている。</p> <p>○ 学習するポイントがカギの印がついた形でまとめられている。</p> <p>○ 「問」については、巻末の問題とリンクした形になっている。</p> <p>○ 「基本のたしかめ」の問題については、その章のどこで学習したかページを明記してあり、振り返ることができる形になっている。【27問】</p>	<p>考えさせる問題が提示されている。</p> <p>○「数学を通して考えよう」で、学習したことを深めたり広げたりする内容や数学や身近なことがらに活用する内容や、自分の考えを説明する内容が取り上げてあり、主体的に取り組む工夫がされている。(曲尺の秘密)</p> <p>○問題解決的な問題の数と具体例</p> <p><1年> B 2 1 (1) 別冊 7 B おうぎ形の面積</p> <p><2年> B 2 9 (2) 別冊 6 B ジョギングのコース</p> <p><3年> B 2 8 (1) 別冊 1 0 B 三平方の定理の証明</p> <p>○円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題… 2</p> <p>○ヒントやポイントを示した吹き出しの数(1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」)</p>	<p><2年></p> <p>1 式の計算 2 2 P 2 連立方程式 2 1 P 3 一次関数 3 4 P 4 図形の調べ方 2 8 P 5 図形の性質と証明 2 9 P 6 確率 1 9 P 巻末問題 1 4 P ・どんな形ができるかな ・2年生のまとめ</p> <p><3年></p> <p>1 式の展開と因数分解 2 7 P 2 平方根 2 4 P 3 二次方程式 2 2 P 4 関数 $y = ax^2$ 2 8 P 5 図形と相似 4 0 P 6 円の性質 1 8 P 7 三平方の定理 2 2 P 8 標本調査 1 2 P 巻末問題 2 4 P ・図形をしきつめよう ・円周角の定理 発見ディスク</p> <p>○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→分数→小数→利用の配列になっている。</p> <p>○ 3年2次方程式の解法が、「平方根の考え」→「解の公式」→「因数分解」の配列になっている。</p> <p>○発展的な問題の数と具体例</p> <p><1年> A 3 B 2 1 (2) 別冊 7 A 球の表面積と体積 B おうぎ形の面積</p> <p><2年> A 6 B 2 9 (3) 別冊 6 A 三角形の外接円と内接円 B ジョギングのコース</p> <p><3年> A 9 B 2 8 (1) 別冊 1 1 A 変化の割合の計算 B 三平方の定理の証明</p>			<p>◆ノート指導やレポート作成、伝え合う活動の取り扱い、記載例、記述ページ数について<扱い></p> <p>○各学年の巻頭の「ノートを工夫して、学習に役立てよう」で、実際の生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。</p> <p>○各学年の各章内に「みんなで話しあってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめよう」として、考えたことやわかったことなどを話し合ったり、分かりやすく伝えたり、ノートやレポート用紙にまとめたりする場面が設定されている。</p> <p><記載例></p> <p>・ノート指導 「黒板に書かれたことをただ移すだけではなく、先生の説明や他の人の発言で大切だと思ったこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう」</p> <p>・伝え合う活動 「正しくするには、どのようになおせばよいでしょうか」、「偶数になることを、右のように説明したとき、この説明では不十分です。なぜでしょうか」</p> <p><記述ページ数></p> <p>・ノート指導 各学年の巻頭において 2 P</p> <p>・レポート作成 『自分の考えをまとめよう』 1 学年 6 P 2 学年 3 P 3 学年 4 P</p> <p>・伝え合う活動 『みんなで話しあってみよう』 1 学年 20 P 2 学年 21 P 3 学年 26 P 『自分のことばで伝えよう』 1 学年 15 P</p>
---	---	---	--	--	---

					2 学年 14P 3 学年 10P																																										
104 数研	<p>1 年 「文字と式」</p> <p>◆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫について</p> <p>○ 章の最初のページにこの章で何を学習するかを明記している。</p> <p>○ 3 種類のキャラクターがそれぞれの役目で「学習の流れ」、「注意事項」、「疑問や課題の投げかけ」をしている。</p> <p>○ 「確かめよう」の問題では、本章の内容へ振り返ることができるようにページが明記されている。【38 問】</p> <p>○ 例については、具体的に何について学習するかを明記している。</p> <p>○ 問の中でやや発展的な内容な問題については、クローバーの印が明記している。</p> <p>【4 問】</p> <p>○ 例と同じタイプの問題が、反復学習できるように横に記載している。【5 問】</p> <p>○ 章末の「確かめよう」、巻末の「チャレンジ編」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。</p> <p>【78 問】</p>	<p>3 年 「円」</p> <p>◆見通しを持ち論理的に考察するための具体例とその展開について</p> <p>○「円の性質の利用」では、身のまわりに広げようという観点（地理，生活）での問題が提示されている。</p> <p>○「発展」では、円に関するいろいろな性質という題材で「円に内接する四角形の性質」、「接弦定理」、「方べきの定理」を考えさせる問題が提示されている。</p> <p>○「調べよう」「伝え合おう」で調べたり、伝え合う活動があり、主体的に取り組む工夫がされている。</p> <p>○問題解決的な問題の数と具体例</p> <p><1 年> B 3 2 (1) B 多面体の頂点のとりがり方</p> <p><2 年> B 3 2 (0) B 2 つの水そうの水の量の変化</p> <p><3 年> B 3 2 (1) B リレーのバトンパス</p> <p>○円の単元内における複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題…0</p> <p>○ヒントやポイントを示した吹き出しの数（1 年「平面図形」、2 年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3 年「図形の相似」）</p>	<p>◆各単元と巻末問題のページ数及び発展的な学習の具体例について</p> <p><1 年></p> <table border="0"> <tr><td>1 正の数と負の数</td><td>4 2 P</td></tr> <tr><td>2 文字と式</td><td>3 0 P</td></tr> <tr><td>3 1 次方程式</td><td>2 6 P</td></tr> <tr><td>4 比例と反比例</td><td>3 0 P</td></tr> <tr><td>5 平面図形</td><td>3 2 P</td></tr> <tr><td>6 空間図形</td><td>3 0 P</td></tr> <tr><td>7 資料の整理とその活用</td><td>2 2 P</td></tr> </table> <p>巻末問題 2 8 P</p> <p>・立体の切断 ・正多面体の展開図</p> <p><2 年></p> <table border="0"> <tr><td>1 式の計算</td><td>2 4 P</td></tr> <tr><td>2 連立方程式</td><td>2 4 P</td></tr> <tr><td>3 1 次関数</td><td>3 4 P</td></tr> <tr><td>4 図形の性質と合同</td><td>3 2 P</td></tr> <tr><td>5 三角形と四角形</td><td>3 0 P</td></tr> <tr><td>6 確率</td><td>1 7 P</td></tr> </table> <p>巻末問題 2 8 P</p> <p>・斜面の傾き ・平行四辺形</p> <p><3 年></p> <table border="0"> <tr><td>1 式の計算</td><td>3 0 P</td></tr> <tr><td>2 平方根</td><td>2 8 P</td></tr> <tr><td>3 2 次方程式</td><td>2 2 P</td></tr> <tr><td>4 関数 $y = a x^2$</td><td>2 8 P</td></tr> <tr><td>5 相似</td><td>3 6 P</td></tr> <tr><td>6 円</td><td>2 2 P</td></tr> <tr><td>7 三平方の定理</td><td>2 2 P</td></tr> <tr><td>8 標本調査</td><td>1 3 P</td></tr> </table> <p>巻末問題 4 4 P</p> <p>・因数分解 ・広がる数学の世界</p> <p>○ 2 年連立方程式が、解の意</p>	1 正の数と負の数	4 2 P	2 文字と式	3 0 P	3 1 次方程式	2 6 P	4 比例と反比例	3 0 P	5 平面図形	3 2 P	6 空間図形	3 0 P	7 資料の整理とその活用	2 2 P	1 式の計算	2 4 P	2 連立方程式	2 4 P	3 1 次関数	3 4 P	4 図形の性質と合同	3 2 P	5 三角形と四角形	3 0 P	6 確率	1 7 P	1 式の計算	3 0 P	2 平方根	2 8 P	3 2 次方程式	2 2 P	4 関数 $y = a x^2$	2 8 P	5 相似	3 6 P	6 円	2 2 P	7 三平方の定理	2 2 P	8 標本調査	1 3 P	<p>2 年 「1 次関数」</p> <p>◆イラスト，写真の数と具体例</p> <p>○イラスト数 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水槽に，それぞれ空の状態から毎分 2 cm の割合で水を入れる図，満水の状態から毎分 2 cm の割合で水面が低くなるように水を抜く図，15 cm まで水が入っている状態から毎分 2 cm の割合で水を入れる図 ・縦 2 cm，横 4 cm の長方形の周上を点 P が毎秒 1 cm の速さで動く図など <p>○写真数 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯魚 ・神戸市中央区のスロープ ・ガスバーナーで水を熱する様子 ・ダイヤグラム ・電車 	<p>◆考察や作業を通して，新しいことがらを見いだしたり，周囲の人と話し合いながら，身のまわりの問題を解決したりする学習の工夫が取り入れられている。</p> <p><具体例></p> <p>○2 年 「文字式の利用」偶数と奇数をたし合わせたとき，その和は偶数になるか，それとも奇数になるか予想し，そのことについて話し合うことで言語活動が行えるようにしている。</p> <p>◆ノート指導やレポート作成，伝え合う活動の取り扱い，記載例，記述ページ数について</p> <p><扱い></p> <p>○各学年の巻頭の「ノートのつくり方」で，実際の生徒のノートを例示し，書き方の工夫や学習の感想について扱っている。</p> <p>○各学年の各章内に「伝え合おう」、「見つけよう」、「活用しよう」として，考えたことやわかったことなどを話し合ったり，分かりやすく伝えたり，ノートやレポート用紙にまとめたりする場面が設定されている。</p> <p><記載例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 「あとで見返したときに学んだ内容，重要なことがら，自分やほかの人の考えを思い出しやすいノートにすることが大切です」 ・レポート作成 「学んだことから数や図形の性質を見だし，発展させましょう」、「学んだことを，いろいろな場面で活用しましょう」 <p><記述ページ数></p>
1 正の数と負の数	4 2 P																																														
2 文字と式	3 0 P																																														
3 1 次方程式	2 6 P																																														
4 比例と反比例	3 0 P																																														
5 平面図形	3 2 P																																														
6 空間図形	3 0 P																																														
7 資料の整理とその活用	2 2 P																																														
1 式の計算	2 4 P																																														
2 連立方程式	2 4 P																																														
3 1 次関数	3 4 P																																														
4 図形の性質と合同	3 2 P																																														
5 三角形と四角形	3 0 P																																														
6 確率	1 7 P																																														
1 式の計算	3 0 P																																														
2 平方根	2 8 P																																														
3 2 次方程式	2 2 P																																														
4 関数 $y = a x^2$	2 8 P																																														
5 相似	3 6 P																																														
6 円	2 2 P																																														
7 三平方の定理	2 2 P																																														
8 標本調査	1 3 P																																														

			味→解き方→加減法→代入法 →かっこ→分数→小数→利用 の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、 「因数分解」→「平方根の考 え」→「解の公式」の配列に になっている。 ○ 発展的な問題の数と具体例 <1年>A 5 B 3 2 (2) A 三角形の外心, 内心 B 多面体の頂点のとり方 <2年>A 3 B 3 2 (1) A 連立3元1次方程式 B 2つの水そうの水の量 の変化 <3年>A 8 B 3 2 (1) A 三角形の重心と内心 B リレーのバトンパス		「見つけよう」 1 学年 9 P 2 学年 8 P 3 学年 3 P 「活用しよう」 1 学年 3 P 2 学年 2 P 3 学年 4 P 「伝え合おう」 1 学年 9 P 2 学年 3 P 3 学年 8 P
116 日 文	1 年 「文字と式」 ◆基礎的・基本的な知識・技能 の定着を図るための工夫につ いて ○ 章の最初のページにこの章 で何を学習するかを明記して いる。 ○ 「問」の横に、時間的の余 裕がある場合には、「チャレン ジ」の問題が明記している。 【13 問】 ○ 例については、具体的に何 について学習するかを明記し ている。 ○ 巻末に「算数をふりかえろ う」というページがあり、学 習時に算数の内容に振り返る 場合ためのページが明記され ている。 ○ 節末、章末の問題では振り 返ることができるように、学 習したときのページが明記さ れている。 ○ 節末の問題では、4つの観 点が明記されている。 ○ 節末の「基本の問題」、章末の	3 年 「円」 ◆見通しを持ち論理的に考察す るための具体例とその展開につ いて ○ 「深める数学」では、円周角 を動かし、「円に内接する四角 形の性質」を考えさせる問題 が提示されている。 ○ 「やってみよう」で、学んだ ことを活用して考えたり、よ り深く調べたりする内容が取 り上げてあり、主体的に取り 組む工夫がされている。 ○ 問題解決的な問題の数と具体 例 <1年>B 4 4 (4) B 資料の傾向をとらえ説明 しよう <2年>B 3 4 (2) B 将来の予測 <3年>B 3 5 (3) B 車は急に止まらない ○ 円の単元内における複数の単 元や領域の学習を総合的に活 用する問題…0 ○ ヒントやポイントを示した吹	◆各単元と巻末問題のページ数 及び発展的な学習の具体例につ いて <1年> 1 正の数と負の数 4 7 P 2 文字と式 3 3 P 3 方程式 2 7 P 4 比例と反比例 4 2 P 5 平面図形 3 0 P 6 空間図形 3 2 P 7 資料の活用 2 3 P 巻末問題 1 2 P ・空間図形 ・正多面体の展開図 <2年> 1 式の計算 2 5 P 2 連立方程式 2 3 P 3 1次関数 3 7 P 4 図形の性質と合同 3 7 P 5 三角形と四角形 3 0 P 6 確率 1 9 P 巻末問題 2 4 P ・図形のまとめ <3年> 1 式の展開と因数分解 3 6 P 2 平方根 2 6 P	2 年 「1次関数」 ◆イラスト、写真の数と具体例 ○ イラスト数 8 ・10 cmの高さまで水が入っ た水槽に、1 分間に 5 cm の割合で水を入れる図 ・縦 2 cm, 横 4 cm の長方形 の周上を点 P が毎秒 1 cm の速さで動くときにでき る△APD のかたちに変化 する図など ○ 写真数 6 ・ビーカーで水を加熱する 実験の様子 ・稲光の様子 ・電球型蛍光灯と LED 電 球 ・バリアフリーのスロープ ・勾配を示す道路標識 ・気象庁のホームページ	◆式や図、表、グラフなども、 自分の考えを伝え合う道具と して使い、学んだ用語を積極 的に使って、自分の考えを伝 え合う活動が取り組むことが できるようにしている。 <具体例> ○ 2 年 「文字式の活用」 数の性質がいつも成り立つ ことを、文字を使って説明 することで、自分の考えを 伝え合う言語活動が行える ようにしている。 ◆ ノート指導やレポート作成、 伝え合う活動の取り扱い、記 載例、記述ページ数について <扱い> ○ 各学年の巻頭の「ノートの 工夫」で、実際の生徒のノ ートを例示し、書き方の工 夫や学習の感想について 扱っている。 ○ 各学年の以下の章末にお いて「数学レポートをかこ う」として、実際の生徒の レポートを例示し、書き方 を説明している。 ○ 各学年の章末に「とりく んでみよう」にある「説明で きるかな?」として、考え たことやわかったことな

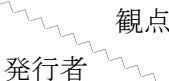
<p>「2章のくり返し練習」では、理解が不十分な場合には本文の例に戻れるように関連する箇所を明記している。 【86問】</p>	<p>き出しの数（1年「平面図形」、2年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」、3年「図形の相似」）</p>	<table border="0"> <tr><td>3</td><td>2次方程式</td><td>19P</td></tr> <tr><td>4</td><td>関数 $y = ax^2$</td><td>33P</td></tr> <tr><td>5</td><td>相似な図形</td><td>38P</td></tr> <tr><td>6</td><td>円</td><td>20P</td></tr> <tr><td>7</td><td>三平方の定理</td><td>20P</td></tr> <tr><td>8</td><td>標本調査</td><td>17P</td></tr> <tr><td colspan="2">巻末問題</td><td>24P</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解 ・図形のまとめ ○ 2年連立方程式が、解の意味→解き方→加減法→代入法→かっこ→小数→分数→利用の配列になっている。 ○ 3年2次方程式の解法が、「因数分解」→「平方根の考え」→「解の公式」の配列になっている。 ○ 発展的な問題の数と具体例 <1年>A5 B44 (4) A 立方体の切り口 B 2つの資料の関係を読み取ろう <2年>A2 B34 (3) A 期待値 B 将来の予測 <3年>A6 B35 (3) A 参加者の人数と試合数 B 車は急に止まらない 	3	2次方程式	19P	4	関数 $y = ax^2$	33P	5	相似な図形	38P	6	円	20P	7	三平方の定理	20P	8	標本調査	17P	巻末問題		24P		<p>どを話し合う場面が設定されている。</p> <p><記載例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 「ノートを見て、前に学んだことを振り返ることが大切です。そのためにも、自分のノートを工夫してつくりましょう」 ・レポート作成 「学んだことや調べたことなどを、レポートにまとめてみましょう」 ・伝え合う活動 「1度のじゃんけんで、ただ一人の勝者が決まる確率を求め、の求め方を樹形図を使って説明しなさい」 <p><記述ページ数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導 各学年の巻頭において 各2P ・レポート作成 各学年の巻末において 各2P ・伝え合う活動 各学年の各章末において 各1
3	2次方程式	19P																							
4	関数 $y = ax^2$	33P																							
5	相似な図形	38P																							
6	円	20P																							
7	三平方の定理	20P																							
8	標本調査	17P																							
巻末問題		24P																							

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	理科	5	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

 観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実																												
	2 東書	①「この単元で学ぶこと」と題して、2ページ構成で学習内容の要点や簡単な発問、章のタイトル、写真を提示している。 ②各章の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組を設けている。また、各章の関連する内容の横に「これまでに学んだこと、算数、数学、社会科で学んだこと」という枠組を設けている。 各単元の終末に「学習内容の整理」として、大切な用語、基本的な概念、法則の解説を位置付けている。2ページを基本とする。(取扱総ページ数 1年: 8, 2年: 8, 3年: 10) ③観察、実験の数(1年: 27,	⑤「科学でGO!」, 「from JAPAN ニッポンの科学」というコラムで、第1分野7, 第2分野3の読み物を掲載している。 ⑥ものづくりの数および補充的な観察・実験の数は以下の通りである。 <table border="1" data-bbox="683 901 1019 1101"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくりの数</th> <th>補充的な観察・実験の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> ⑦各学年の巻頭に「探究の流れの例」として探究の学習の過程を示している。 1「ふしぎ」を見つけよう 2関連情報を収集しよう 3仮説を立てよう 4実験計画を立てよう 5観察・実験を行おう	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数	1	7	65	2	4	40	3	4	45	<table border="1" data-bbox="1041 566 1377 694"> <thead> <tr> <th>B5判¹</th> <th>頁数²</th> <th>単元数³</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>276(2)</td> <td>4(13)</td> <td>560g</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>292(4)</td> <td>4(15)</td> <td>590g</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>320(4)</td> <td>5(16)</td> <td>635g</td> </tr> </tbody> </table> ¹ B5判より5mm横長, ² 0内は付録の頁数 ³ 0内は中単元数 ⑧1分野では化学、物理の順で、2分野では生物、地学の順にした上で、1・2分野の各単元をほぼ交互に配置している。 ⑨総合的なものの見方を育成する3年終章の分量は12ページで、「調べよう」で計2テーマ、「実習1 自然環境の保全と科学技術の利用」では3テーマ例を提示している。 ⑩各単元の中に、基本的な内容を確認するための「チェック」、例題、「練習」、「確認」を設定	B5判 ¹	頁数 ²	単元数 ³	重さ	1年	276(2)	4(13)	560g	2年	292(4)	4(15)	590g	3年	320(4)	5(16)	635g	⑪巻頭・巻末における資料等は、1年の巻頭は、「科学と人の物語」(写真21点)、既習事項と学習内容、目次、教科書の使い方、マークの説明、レポートの書き方、話し合いのしかた、理科室の決まり等14ページであり、3年の巻末は、理科室の決まり、基礎操作、周期表、科学史年表、校外施設等18ページである。 単元の冒頭に各章で学習する内容を日常生活場面のイラストと関連付けて掲載している。また、章の冒頭等では、「これまでに学んだこと」として既習事項を絵等とともに示している。
学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数																															
1	7	65																															
2	4	40																															
3	4	45																															
B5判 ¹	頁数 ²	単元数 ³	重さ																														
1年	276(2)	4(13)	560g																														
2年	292(4)	4(15)	590g																														
3年	320(4)	5(16)	635g																														

	<p>2年：25, 3年：22)</p> <p>④コラム「科学でGO!エコ大陸」で環境保全に関する話題や資料を示している。(1年：2, 2年：1, 3年：9)</p>	<p>6 結果を整理しよう</p> <p>7 考察しよう</p> <p>8 探究の結果をまとめよう</p> <p>「? (解決する課題)」、「考えよう」、「話す」、「調べよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</p>	<p>している。また、単元末に、「確かめと応用」とその「活用編」を補充的な問題として設定している。</p> <p>発展的な学習の取扱い数は、1年21, 2年29, 3年31である。</p>		<p>ードを用いて、課題把握、予想、考察などの場面に話合いの活動を設けている。また、「学びを活かして考えよう」で、説明する場面を設けている。</p>																												
<p>4 大日本</p>	<p>①「これから学習すること」と題して、小単元の内容の紹介と主な実験観察の様子や扱う教材などが提示してある。</p> <p>②各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設けている。また、各章の関連する内容の横に「思い出そう」[算数では「数学でよ」という枠組を設けている。</p> <p>各単元の終末に「まとめ」として、キーワードや基本的な概念、法則の解説を位置付けている。2ページを基本とする。 (取扱い総ページ数 1年：8, 2年：8, 3年：11)</p> <p>③観察、実験の数(1年：34, 2年：29, 3年：22)</p> <p>④自然環境の保全に関わる</p>	<p>⑤「くらしの中の理科」、「科学史」、「プロフェSSIONナル」「トピック」というコラムで、第1分野17, 第2分野4の読み物を掲載している。</p> <p>⑥ものづくりの数および補充的な観察・実験の数は以下の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="683 874 1021 1072"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくりの数</th> <th>補充的な観察・実験の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>8</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦各学年の巻頭に探究の学習の過程を示している。</p> <p>1 関連するこれまでの学習を示しています。</p> <p>2 学習の課題をつかみます。</p> <p>3 課題を解決するための観察や実験を計画します。</p> <p>4 観察や実験などを行う</p>	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数	1	8	34	2	9	38	3	6	42	<table border="1" data-bbox="1048 491 1386 624"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>頁数</th> <th>単元数¹</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>286</td> <td>4(17)</td> <td>538g</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>310</td> <td>4(20)</td> <td>579g</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>334</td> <td>6(23)</td> <td>617g</td> </tr> </tbody> </table> <p>¹ 0内は中単元数</p> <p>⑧1分野では化学、物理の順で、2分野では生物、地学の順にした上で、1・2分野の各単元をほぼ交互に配置している。</p> <p>⑨総合的なものの見方を育成する3年終章の分量は4ページで、「身のまわりの環境を調べ、持続可能な社会にする方法をみんなで考えよう」では、9テーマ例を提示している。</p> <p>⑩各単元の中に、基本的な内容を確認するための「問い」、「章末問題」を設定している。また、単元末に、「単元末問題」と「読解力問題」を補充的な</p>	B5判	頁数	単元数 ¹	重さ	1年	286	4(17)	538g	2年	310	4(20)	579g	3年	334	6(23)	617g	<p>⑪巻頭・巻末における資料等は、1年の巻頭は、「夏の溪谷と日差し(熊本県菊池市)」の写真とニュートンの紹介文、目次、教科書の使い方、マークの説明等6ページであり、3年の巻末は、課題研究・自由研究、科学館等、学習のまとめ、さくいん、周期表、ノーベル賞、科学史年表等34ページである。</p> <p>単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する問いの文とともに掲載している。また、章の冒頭等で「これまでに学習したこと」として既習事項を写真や絵等とともに示している。</p>	<p>⑫「結果の整理」「結果から考えてみよう」により、分析・解釈する視点を示している。</p> <p>⑬第1学年の巻頭に「わたしのレポート」、単元2に「基本操作ノートの書き方」として、作成方法を説明している。また、第1学年の各単元には、1つずつ「わたしのレポート」として、その横に作成をする際の留意事項を項目ごとに提示している。</p> <p>「話し合ってみよう」というキーワードを用いて、考察などの場面で話合いの活動を設けている。また、単元の終章「学んだことを活かそう」で、新しい課題に取り組み、結果を考察し説明したり、話合い</p>
学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数																															
1	8	34																															
2	9	38																															
3	6	42																															
B5判	頁数	単元数 ¹	重さ																														
1年	286	4(17)	538g																														
2年	310	4(20)	579g																														
3年	334	6(23)	617g																														

	<p>話題や資料は関連を示すマークを設けている。(1年：3，2年：2，3年：4)</p>	<p>ときの着目点を示しています。</p> <p>5 観察や実験を行います。</p> <p>6 記録した結果を整理します。</p> <p>7 整理した結果から考察します。</p> <p>「? (学習の課題)」, 「結果から考えてみよう」, 「やってみよう」 「話し合ってみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。各学年の巻末に「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」として探究の過程を示している。</p>	<p>問題として設定している。また、第3学年の巻末に、「学習のまとめ」(1年, 2年)を設定している。</p> <p>発展的な学習の取扱い数は、1年 25, 2年 44, 3年 43 である。</p>		<p>をしたりする場面を設けている。</p>																												
<p>11 学図</p>	<p>①「これから学ぶこと」と題して、小単元のテーマと主な内容を提示し、自然界や日常生活における教科内容と関係のある写真を掲載している。</p> <p>②各章の導入部に「これまでに学んできたことをチェックしよう」という枠組を設けている。また、各章の関連する内容の横に「思い出してみよう」「数学とのつながり」</p>	<p>⑤「科学の窓」, 「科学を仕事に活かす～はたらく～」というコラムで、第1分野18, 第2分野7の読み物を掲載している。</p> <p>⑥ものづくりの数および補充的な観察・実験の数は以下の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="683 1305 1021 1501"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくりの数</th> <th>補充的な観察・実験の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数	1	5	32	2	5	21	3	4	27	<table border="1" data-bbox="1048 927 1386 1058"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>頁数¹</th> <th>単元数²</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>302</td> <td>4(13)</td> <td>630g</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>310(2)</td> <td>4(13)</td> <td>650g</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>322</td> <td>6(16)</td> <td>665g</td> </tr> </tbody> </table> <p>¹ 0内は付録の頁数 ² 0内は中単元数</p> <p>⑧各学年とも1分野, 2分野の単元順で配置している。1, 2年では化学, 3年では物理の単元を最初に配置している。</p> <p>⑨総合的なものの見方を育成する3年最終単元の終章の分量は10ページで, 2か</p>	B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ	1年	302	4(13)	630g	2年	310(2)	4(13)	650g	3年	322	6(16)	665g	<p>⑪巻頭・巻末における資料等は、1年の巻頭は、「自然の不思議を探ろう！」(写真6点), 観察, 実験の進め方, もくじ, 教科書の使い方(学習の流れ, マークの説明)7ページであり, 3年の巻末は, 自由研究の進め方, 実験・観察に必要な資料(14点), 科学・技術の歩み, さくいん, 問題と解答等35ページである。</p>	<p>⑫「結果」「考察」により, 分析・解釈する視点を示している。</p> <p>⑬第1学年のA-1, A-2, B-1の単元に「基本操作レポート・ノートのかき方」として, 作成方法を説明している。また, 第2, 3学年の巻末資料に, 「観察・実験のレポート・ノートのかき方」として, その横に作成をする際</p>
学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数																															
1	5	32																															
2	5	21																															
3	4	27																															
B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ																														
1年	302	4(13)	630g																														
2年	310(2)	4(13)	650g																														
3年	322	6(16)	665g																														

	<p>という枠組を設けている。</p> <p>単元の終末に「学習のまとめ」として、基本的な用語、基本的な概念、法則の解説を位置付けている。2ページを基本とする。最終単元には位置付けがない。(取扱総ページ数 1年: 8, 2年: 8, 3年: 10)</p> <p>③観察、実験の数(1年: 24, 2年: 24, 3年: 20)</p> <p>④自然環境の保全に関わる話題や資料は関連を示すマークを設けている。(1年: 2, 2年: 1, 3年: 8)</p>	<p>⑦各学年の巻頭に「観察、実験の進め方」として探究の学習の過程を示している。</p> <p>1 目的 2 計画 3 観察・実験 4 結果 5 考察 6 まとめ・発表</p> <p>「? (観察や実験で解決する課題)」、「考察とまとめ」、「話し合ってみよう」、「思い出してみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。各学年の巻末に「自由研究の進め方」として探究の過程を示している。</p>	<p>所の「話し合ってみよう」で計5テーマを提示している。</p> <p>⑩ほとんどの単元の中に、基本的な内容を確認するための「問い」と「例題」、「学習の確認」を設定している。また、単元末に、「単元末問題」と「活用しよう」を補充的な問題として設定している。巻末には、年間の補充的な問題として「まとめの問題」を設定している。</p> <p>発展的な学習の取扱い数は、1年10、2年15、3年24である。</p>	<p>単元の冒頭に「これまでに学んできたことをチェックしよう」として既習事項を問いと答えの形で示し、本単元の学習内容と既習事項との関連について矢印を使って示している。また、単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する文とともに掲載している。</p>	<p>の留意事項を項目ごとに説明している。</p> <p>「話し合ってみよう」というキーワードを用いて、課題把握、予想、考察などの場面で話合いの活動を設けている。また、「活用」というキーワードを用いて、説明する場面や考える場面を設けている。</p>																												
<p>17 教出</p>	<p>①学習する内容と関係がある日常の事例や扱う教材の写真に掲載し、「学んでいくこと」として小単元目標と主な学習内容が掲載してある。</p> <p>②各単元の「学んでいくこと」の中にこれまで学習した内容を示している。また、各章の関連する内容の横に「思い出そう」[算数で]、「数学で」という枠組を設</p>	<p>⑤「ハローサイエンス」、「生活」、「歴史」、「環境」というコラムで、第1分野12、第2分野10の読み物を掲載している。</p> <p>⑥ものづくりの数および補充的な観察・実験の数は以下の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="683 1305 1021 1503"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくりの数</th> <th>補充的な観察・実験の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数	1	3	43	2	4	28	3	4	22	<table border="1" data-bbox="1048 928 1386 1056"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>頁数¹</th> <th>単元数²</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>278(4)</td> <td>4(15)</td> <td>556g</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>282(2)</td> <td>4(15)</td> <td>546g</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>310(4)</td> <td>7(20)</td> <td>602g</td> </tr> </tbody> </table> <p>¹ 0内は付録の頁数 ² 0内は中単元数</p> <p>⑧各学年とも化学・物理・生物・地学(1分野、2分野)の単元順で配列している。</p> <p>⑨総合的なものの見方を育成する単元の分量は6ページで、「考えよう」「話し合おう」の各1か所で課題を</p>	B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ	1年	278(4)	4(15)	556g	2年	282(2)	4(15)	546g	3年	310(4)	7(20)	602g	<p>⑪巻頭・巻末における資料等は、1年の巻頭は、目次、マークの説明、「なぜ理科を学ぶのか」宇宙ステーションの写真(他2点)、理科学習の進め方(基礎技能)等10ページであり、3年の巻末は、総合問題、自由研究、巻末資料(理科室のきまりと応急処置他24点)、索引、第3学年での学習内容と高等学校での学習内容との関</p>	<p>⑫「結果」「考察」により、分析・解釈する視点を示している。</p> <p>⑬第1学年の巻頭に「基礎技能レポートの書き方」として、作成方法を説明している。また、各学年に「わたしのレポート」として、レポートの一部または全部を提示している。</p> <p>「話し合おう」というキーワードを用いて課題把握、予</p>
学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数																															
1	3	43																															
2	4	28																															
3	4	22																															
B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ																														
1年	278(4)	4(15)	556g																														
2年	282(2)	4(15)	546g																														
3年	310(4)	7(20)	602g																														

	<p>けている。</p> <p>各単元の終末に「要点と重要用語の整理」として、用語や「基本的な概念、法則の解説」を位置付けている。</p> <p>2ページを基本する。(取扱総ページ数 1年: 8, 2年: 8, 3年: 11.3)</p> <p>③観察, 実験の数 (1年: 27, 2年: 29, 3年: 25)</p> <p>④コラム「ハローサイエンス」に, 環境保全に関する話題や資料を示している。(1年: 4, 2年: 3, 3年: 6)</p>	<p>⑦第1学年の巻頭に, 「理科学習の進め方」として探究の学習の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 疑問をもつ 2 課題を設定する 3 仮説をもち, 計画を立てる 4 観察や実験を行い, 結果を得る 5 得られた結果をもとに考察する 6 新たな疑問から, さらなる課題へ <p>「? (学習の課題)」、話し合おう、考えよう、「調べよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。各学年の巻末の「自由研究」においても, 上記と同様の探究の過程を示している。</p>	<p>提示している。</p> <p>⑩各単元の中に, 基本的な内容を確認するための「要点をチェック!」を設定している。また, 単元末に, 「基礎・基本問題」と「活用・応用問題」を補充的な問題として設定している。巻末には, 年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。</p> <p>発展的な学習の取扱い数は, 1年 29, 2年 31, 3年 26 である。</p>	<p>連等, 45ページである。</p> <p>単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する文とともに掲載している。単元の冒頭で「学んでいくこと」として既習事項と各章の見出し及び学習内容との関連を示している。また, 章の冒頭等で「思い出そう」として既習事項を示している。</p>	<p>想, 考察などの場面に話し合いの活動を設けている。また, 「活用しよう」において, 説明する場面を設けている。</p>																						
<p>61 啓林館</p>	<p>①単元の導入で今後の学習にかかわる写真入りの事象や実社会や自然界での事例や活用例が掲載され, 「単元のねらい」で学習の流れが示されている。</p> <p>②各章の関連する内容の横に「ふり返り」という枠組を設けている。また, 各</p>	<p>⑤「ぶれいくtime」, 「ひろがる世界」というコラムで, 第1分野6, 第2分野7の読み物を掲載している。</p> <p>⑥ものづくりの数および補充的な観察・実験の数は以下の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="683 1404 1025 1505"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>ものづくりの数</th> <th>補充的な観察・実験の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数	1	9	52	<table border="1" data-bbox="1048 1069 1391 1201"> <thead> <tr> <th>B5判</th> <th>頁数¹</th> <th>単元数²</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>270(86)</td> <td>4(14)</td> <td>612g</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>278(90)</td> <td>4(15)</td> <td>628g</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>302(90)</td> <td>5(17)</td> <td>665g</td> </tr> </tbody> </table> <p>¹ 0内は別冊の頁数 ² 0内は中単元数</p> <p>⑧各学年とも生物, 地学, 化学, 物理 (1分野, 2分野) の単元順で配列している。</p> <p>⑨総合的なものの見方を育</p>	B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ	1年	270(86)	4(14)	612g	2年	278(90)	4(15)	628g	3年	302(90)	5(17)	665g	<p>⑪巻頭・巻末における資料等は, 1年の巻頭は, 「降り注ぐ太陽の恵み」(湖に森林が逆さに映る写真他7点), 教科書の使い方, マークの説明, 目次等7ページであり, 3年の巻末は, きみも科学者 (テーマ7点), 地球環境資料集「オーロラが観</p>	<p>⑫「結果」「考察」により, 分析・解釈する視点を示している。</p> <p>⑬各学年巻末に「きみも科学者レポートのまとめ方」として, 作成方法を説明している。また, 各学年に「わたしのレポート」として, レポートの一部または全部を示し</p>
学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数																									
1	9	52																									
B5判	頁数 ¹	単元数 ²	重さ																								
1年	270(86)	4(14)	612g																								
2年	278(90)	4(15)	628g																								
3年	302(90)	5(17)	665g																								

<p>章の関連する内容の横に「国語 算数 数学 社会科と関連」という枠組を設けている。</p> <p>各単元の終末に「学習のまとめ」として「用語 や 基本的な概念、法則の解説」を位置付けている。(ページを基本する。(取扱い総ページ数 1年: 8, 2年: 8, 3年: 10)</p> <p>③観察, 実験の数 (1年: 24, 2年: 28, 3年: 23)</p> <p>④環境保全に関する話題や資料の隅には関連を示すマークを設けている。(1年: 6, 2年: 8, 3年: 22)</p>	2	3	39	<p>成する単元の分量は9ページで, 2か所の「考えてみよう」で課題を与え, 計9テーマ例を提示している。</p> <p>⑩別冊のマイノートに, 単元ごとに「サイエンスアプローチ」と「ステップアップ」を補充問題として掲載している。また, マイノートの単元末に「力だめし」を補充的な問題として設定している。さらにマイノートには, 年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。</p> <p>発展的な学習の取扱い数は, 1年7, 2年10, 3年14である。</p>	<p>測できる町」(北海道陸別町)他24点, サイエンス資料(「理科でよく使う算数・数学」他5点), 索引, 理科関連職業等33ページである。</p> <p>単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する問いの文とともに掲載している。また, 章の冒頭等で「ふり返り」として既習事項を問いと答えの形で示している。</p>	<p>ている。第1学年のレポート例に「レポート作成のチェックリスト」を提示している。</p> <p>「話し合ってみよう」「予想してみよう」というキーワードを用いて, 課題把握, 予想, 考察などの場面で話合いの活動を設けている。別冊「マイノート」に, 話し合う内容について, 書き込んで表現する場面を設定している。また, 「活用してみよう」において, 日常生活の中で活用できないか, 考えたり説明したりする場面を設けている。</p>
	3	2	38			
	<p>⑦第1学年「身のまわりの物質いろいろな物質とその性質」の単元内において「探究のしかた」として探究の学習の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探究の課題設定 2 予想 3 実験の目的 4 実験の計画 5 観察・実験 6 実験の結果 7 実験の考察 8 探究のまとめ <p>「? (学習の課題)」, 「予想してみよう」, 「考えてみよう」, 「話し合ってみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。学年の巻末の「きみも科学者」において「探究の道しるべ」として探究の過程を示している。</p>					

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（一般）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を教材名の下に縦書きで2つずつ示している。 [共通事項] に示されている用語や記号を見開き右ページ上に掲載している。 1年の「Let's Sing」で、歌うための準備、変声と混声合唱についてイラストを用いて記載している。 「音のスケッチ」で、基本的な創作の活動を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しにより、学習活動のポイントが示され、学習活動が促進される。 創作において、活動1、活動2、活動3の順で、思考・判断し表現する一連の学習過程を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、歌唱教材、鑑賞教材、創作、学習資料、合唱曲集、国歌「君が代」の順で配列している。 目次では、各学年とも「音楽の要素を捉えながら」「歌い合わせ、聴き深める喜び」という3つの柱でまとめて配置している。 各学年とも目次に「発展」と示すとともに、該当ページを1ページ設け、イラストと文章で記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次で示している3つの柱を色分けし、マークをつけている。それを各教材の該当ページにも使用している。 楽典ページに、中学校で新しく学習する用語や記号を示すマークをつけ、本文で取り扱うページを示している。 折り返した資料のページもあり、大きく詳しく示している。 キャラクターが登場し、吹き出しで学習のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材において、キャラクターの吹き出しで、聴く視点とまとめるポイントを示している。 聴き取ったことや感じたことを「伝えてみよう!」という欄に書き込めるようにしている。
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> 学習目標は目次と教材名の上に横書きで示している。 [共通事項] に示されている音楽を形づくっている要素を「学習の窓口」としてマークで示し、音楽学習MAP（目次の次）と 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しにより、学習活動のヒントが示され、学習活動が促進される。 創作において Warming up , 1 2 3 Challenge!! の順で思考・判断し表現する一連 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、歌唱教材及び創作、鑑賞教材、合唱曲集、国歌「君が代」の順で配列している。 各学年とも目次とは別に「音楽学習MAP」で学習内容と各教材の関連を明確に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽学習MAPで歌唱・創作・鑑賞の3つのまとまりで、学習目標、教材、[共通事項] に示されている音楽を形づくっている要素を示している。 音楽の約束のページに、学年の教材に対応させた 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材において、キャラクターの吹き出しで、聴く視点とまとめるポイントを示している。 聴き取ったことや感じたことを書き込める欄を設けている。（1年鑑賞「魔王」）

	<p>該当ページの学習目標に並べて掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの発達段階を考慮し（p 15）「My voice!」で、呼吸・姿勢・歌声づくりについてイラストを用いて記載している。 ・各学年に応じた内容で音符・休符・記号のビンゴゲーム，リズムゲームのページを設けている。 (P8,9) ・「Let's create」「My melody」で、基本的な創作の活動を取り上げている。 	<p>の学習過程を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「ここが分かれば Grade up!」のページで直接書き込める欄があり，主体的に考える課題を提示してある。 (p11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも目次に「発展的学習」と示すとともに，口絵や鑑賞教材を掲載したページが複数ページあり，写真と文章で記述している。 ・創作を表現や鑑賞の活動と関連させながら配置している。 	<p>楽典の内容を簡潔に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の写真やイラストの発色がよく鮮明である。 ・キャラクターが登場し，吹き出しで学習のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「曲のよさをプレゼンテーションしよう」というページで，曲を聴いて，お互いに発表し合う場がある。
--	---	--	--	---	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（器楽合奏）	2	1

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 目次で、大きく2つ目標を示している。 各楽器の基本的な演奏法が写真を使って示されている。 リコーダー練習曲のページの端に、運指の図を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「合わせて練習しよう」で「Let's play!」「Let's try!」のアンサンブル曲を掲載している。 「名曲旋律集」でソロ楽譜を掲載している。 手作りの横笛の作り方を説明と写真で掲載している。 「音のスケッチ」で平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を2小節創作する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。 楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。 基本的な奏法を写真で示している。 鑑賞教材を示すマークを目次と該当ページにつけている。 キャラクターの吹き出しで、練習ポイントを示している。 楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。 箏の楽譜は五線を併用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 器楽の活動において、奏する際の工夫する視点を記述している。
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> 音楽学習マップで器楽と創作の目標を示し、「Let's play instruments!」で学習目標と学習活動を示している。 各楽器の基本的奏法が写真を使って示されている。 練習曲の楽譜横に、音域を示している。 打楽器については、12種類の楽器の奏法が説明と写真で示されている。また、練習のためのリズム譜が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アンサンブルセミナー」で、「ここが分かればGrade up!」として、アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成を取り上げている。 「アンサンブル」では、学習した各楽器を組み合わせた楽曲を掲載している。 「名曲スケッチ」で、アルトリコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載している。 「音を聴いて確かめよう」で内容と方法が示されている。 「My Melody」で、箏を平調子に調弦して4小節の旋律をつくる課題と「Challenge!!」で前奏をつくる課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。 楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八・打楽器（12種類）を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。 基本的な奏法を写真で示している。 キャラクターの吹き出しで、ポイントやヒントを示している。（アンサンブルセミナー、My melody） 楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。 箏の楽譜は五線を併用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アンサンブルセミナー」（器楽・創作）において、グループアンサンブルの中で工夫する視点を挙げると共に、具体的な学習活動を手順に沿って示している。

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	美術	3	5

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
9 開隆堂	<p>○題材ごとに、ふりかえりに4観点「関心・意欲・態度」、「発想・構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」で4色の●で示し確認するようにしている。</p> <p>○題材ごとに基礎的な技法や知識などの習得させたい内容を黄緑色の四角の中に明記し4観点のマークで示している。</p>	<p>○冒頭に美術を通して学ぶ大切なことについて載せている。</p> <p>○生徒作品と作者の言葉、制作風景を写真で紹介している。</p> <p>○学校内で活用されている生徒作品とその制作風景が掲載されている。</p> <p>○美術作品の鑑賞のポイントを明記している。</p> <p>○美術作品を通じて遠近法や構図の取り方など専門的な内容を取り上げている。【2・3】</p> <p>○道具の種類や使い方の写真・図を掲載している。また、職人と技と道具を紹介している。</p> <p>○制作中の手元の写真を多く載せている。</p>	<p>○題材ごとのふりかえりを4観点を示している。</p> <p>○「絵や彫刻など」 【1】 20 頁分 【2・3】 36 頁分 「デザインや工芸など」 【1】 16 頁分 【2・3】 34 頁分 「ガイダンスや資料的な内容」 【1】 20 頁分 【2・3】 34P の 3 部構成になっている。</p> <p>○見出しのレタリングで1文字ずつの大きさと配列を変えて、題材の印象を作っている。</p> <p>○小見出しの表記はオレンジ色に統一している。</p> <p>○左ページの左上端を題材別「絵や彫刻」「デザインや工芸」と表記し色わけをしている。</p>	<p>1年</p> <p>■折り込みページ</p> <p>○ガイダンス ・「美術って、何だろう？」 ・「集める・試す・組み立てる」</p> <p>○絵や彫刻など ・「心ひかれる風景」</p> <p>○資料的な内容 ・「道具箱」 ・「色彩ホームページ」</p> <p>■大型図版 ・トラヤんの空飛ぶ方舟大作戦 【ヤノベケンジ】 ・柳のある明るい朝【クロード・モネ】 ・道具箱（道具を安全に使いこなそう） ・色彩ホームページ</p> <p>2・3年</p> <p>■折り込みページ</p> <p>○ガイダンス</p>	<p>○構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。 【1】 40P</p> <p>具体例 題材名「材料を生かして」 (第1学年) ・何をつくろうかな。 ・どこで使おうかな。 ・だれが使うものをつくろうかな。 ・どんな形が使いやすいかな。</p> <p>○発想のヒントになる言葉の例を複数示し、発想の仕方を例示している。 【2・3】 30P</p> <p>○個人やグループで発想や構想しているプロセスを写真やアイデアスケッチとともに示している。 【2・3】 71P</p> <p>○鑑賞して感じたことや調</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ○美術作品の一部を拡大した写真を載せている。 ○作品と作者の写真が、載せてある。 ○折込ページ3ページ分(60cm)が5箇所【1】。3ページ分(60cm)3箇所, 4ページ分(78cm)2箇所【2・3】 ○日本美術を14ページ(P38～P51)に渡り、扱っており日本文化の良さや美しさを自然に鑑賞できる。【2・3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「他人と違うこと, 他人と同じであること」 ○資料的な内容 ・「生きることと美術」 ・「ゲルニカ」 ・「人の表現から見る美術の歴史」 ■大型図版 ・幻の華【草間彌生】 ・群青富士(右隻)【横山大観】 ・最後の晚餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】 ・彫刻プロジェクト「アメリカン・フィールド」【アントニー・ゴームリー】 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 	<p>べて分かったことなどを, レポートやカードにまとめた例で示している。【1】46, 47P</p> <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。 【2・3】54P, 68P</p> <p><u>具体例</u> 題材名「デザインする心」(第2・3学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩, 構成を手がかりに, 日本らしさとは何かについて話し合ってみましょう。
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ○題材名の横に目標を示し, 学習後に達成状況をチェックする□を設けている。 ○題材名の下に, Qとして授業の中で常に意識して, 形・色・材料・光などのことや, それらがもたらすイメージについて考えるきっかけとなる文章を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○冒頭に谷川俊太郎の詩「うつくしい」を載せている。 ○作品ができるまでのプロセスと技法を載せている。【1】 ○絵画の技法, デザインの技法等多く示している。 ○日本の伝統的な作品や日本の美術作品を多く取り上げている。 ○日本美術と自然との関係を意識した題材を取り上げている。【2・3】 ○生徒作品と作者の言葉を載せている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「はじめに」 【1】【2・3】6頁分「絵や彫刻など」 【1】22頁分【2・3】42頁分「デザインや工芸など」 【1】16頁分【2・3】28頁分「学習を支える資料」 【1】46P～67P(22頁分)【2・3】78P～105P(28頁分)の4部構成になっている。 ○表現・鑑賞と分かれたページがある。 ○美術作品の一部を拡大し 	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ■折込みページ ○はじめに ・「感じたことを話し合おう」 ・「美術って何だろう?」 ○絵や彫刻など ・特別展示室「風神雷神, 自然と人と」 ○学習を支える資料 ・色と光の特徴を知ろう ・形と材料の特徴を知ろう ■大型図版 ・人生【マルク・シャガール】 ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】 <p>2・3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○主題を生み出すためのワークシートの記述例を示している。【1】32, 33P <u>具体例</u> 題材名「文様, 飾りの小宇宙」(第1学年) ・竹のように高く元気に成長してもらいたいという願いがこめられている。また, ささの葉には, 殺きん作用があるので, 病気になるまいという願いもこめられている。 ○メモや言葉から発想を広げる事例を写真やアイデア

		<p>○生徒の鑑賞レポートを実物の写真で紹介している</p> <p>○生徒作品と作品が出来上がった時の生徒の写真を載せている。【1】</p>	<p>た写真が【1】 1箇所，【2・3】 3箇所，掲載してある。</p> <p>○折込ページ4頁分（78cm）が1箇所，3頁分（60cm）が4箇所ある。画像が大きく表示されている。</p>	<p>■折り込みページ</p> <p>○はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感じたことを話し合おう」 ・「朝起きてから夜眠るまでの美術」 <p>○絵や彫刻など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展示室「ゲルニカ，明日への願い」 <p>○学習を支える資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術史年表」 ・「絵巻物を楽しむ」 <p>■大型図版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記憶の固執【サルヴァドール・ダリ】 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 ・1946年の冬【アンドリュウ・ワイエス】 	<p>アスケッチとともに示している。【1】 6箇所，【2・3】 18箇所</p> <p>○個人やグループで発想や構想している場面の複数の写真とともに示している。【2・3】 52P</p> <p>○鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを，レポートやカードにまとめた例で示している。【1】 29P</p> <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。【2・3】 45P</p> <p><u>具体例</u></p> <p>題材名「ゲルニカ，明日への願い」（第2・3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゲルニカ」を描いたピカソにとって，生きるとはどのようなことだったのだろうか。作品を見て感じ取ったことをみんなで話し合ってみよう。
--	--	--	--	--	--

<p>116 日文</p>	<p>○題材名の横に、「学びのねらい」として、「美術への関心・意欲・態度」「発想や構想」「創造的な技能」「鑑賞」に関する4観点の目標を示している。また、観点別をマークで表記している。</p> <p>○題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。</p>	<p>○一冊ずつに1「出会いとひろがり」2・3上「学びの深まり」2・3下「美の探究」とそれぞれのテーマを設定している。</p> <p>○題材のはじめに学びのねらいが4観点で示されている。</p> <p>○題材についてのポイントが示されている。</p> <p>○制作中の生徒の目線を意識した写真を載せている。</p> <p>○作品を作るための技法、技術を多数掲載している。</p> <p>○生徒作品と共に制作風景、考えている場面を紹介している。</p> <p>○作家の制作風景、ラフスケッチ、アイデアスケッチ等を載せている。</p> <p>○作品を作るために必要な資料が多く掲載されている。</p>	<p>○「美術1」,「美術2・3上」,「美術2・3下」3冊で構成されている。</p> <p>○幅が23.1cmとA4サイズより大きい。</p> <p>○テーマの見出しが、短文になっている。サブタイトルは、何をするか具体的に示されている。</p> <p>○制作手順の写真,図解が、載っている。</p> <p>○浮世絵(凱風快晴), (神奈川沖浪裏)の部分は、和紙の素材を使っている。【2・3上】</p> <p>○折込ページ4ページ分(85cm)が1箇所, 3ページ分(66cm)が4箇所ある。</p> <p>○4ページ分の見開きは、観音開きになっている。「絵や彫刻など」を紹介している。</p> <p>【1】【2・3上】【2・3下】26P~29P</p> <p>○「オリエンテーション」</p> <p>【1】【2・3上】【2・3下】5P~7P</p> <p>「学習に役立つ資料」</p> <p>【1】50P~59P(10頁分)【2・3上】48P~57P(10頁分)</p>	<p>1年</p> <p>■折込みページ</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>・「出会って広げよう」</p> <p>・「図画工作,そして…美術へ」</p> <p>○絵や彫刻など</p> <p>・教科書美術館「花の生命」</p> <p>○学習に役立つ資料</p> <p>・「色の広がり,色の魅力」</p> <p>・「モダンテクニック」</p> <p>・「木版画」</p> <p>・「焼き物」</p> <p>■大型図版</p> <p>・奄美の海にソテツとアダン【田中一村】</p> <p>2・3年上</p> <p>■折込みページ</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>・「学びを深めよう」</p> <p>・「表現の可能性を求めて」</p> <p>○絵や彫刻など</p> <p>・教科書美術館「東へ,西へ…」</p> <p>○学習に役立つ資料</p> <p>・「日本美術の展開と世界との交流」</p> <p>・「現代に受けつがれる浮世絵版画」</p> <p>■大型図版</p> <p>・最後の晩餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】</p> <p>・神奈川沖浪裏【葛飾北斎】</p> <p>・凱風快晴【葛飾北斎】</p>	<p>○構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。</p> <p>【1】14P</p> <p>具体例</p> <p>題材名「心に残ったできごと」(第1学年)</p> <p>・心に残っている景色や場面を思い出して,作品のアイデアを練ろう。</p> <p>・部活の時…</p> <p>・家族旅行で見た景色…</p> <p>・友だちと遊んだところ…</p> <p>○個人やグループで発想や構想している場面を写真やアイデアスケッチとともに示している。</p> <p>【2・3上】38,39P</p> <p>○作品の企画書をまとめるプロセスを複数の写真とともに示している。</p> <p>【2・3下】33P</p> <p>○鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを,レポートやカードにまとめた例で示している。【1】19P</p> <p>○鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。</p> <p>【2・3下】24P</p> <p>具体例</p> <p>題材名「刻まれた祈り」(第2・3学年)</p>
-------------------	---	--	---	--	---

			<p>【2・3 下】 48P～55P（8頁分）</p>	<p>2・3年下 ■折り込みページ ○オリエンテーション ・「美を探し求めて」 ・「夢をかたちにするデザイン」 ○絵や彫刻など ・教科書美術館「刻まれた祈り」 ○デザインや工芸など ・「自然を愛でる空間」 ○学習に役立つ資料 ・「アートを体験する場に出かけよう」 ・「写真撮影の第一歩」 ・「コンピュータ・グラフィックスの表現」 ・「アニメーションの表現」 ・「石を彫る」 ・「織る」 ・「仏像の種類」・「近代の建築」 ■大型図版 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 ・春が舞う【中井精也】</p>	<p>・それぞれの仏像の種類とかかわりも考え、細部の表現と全体から受けるイメージの鑑賞を行き来し、込められた思いについて考えたことを話し合いました。</p>
--	--	--	--	---	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科書用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	保健体育	4	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に「今日の学習」で本時の目標を提示、「やってみよう」で実生活を想起させる課題を提示し、学習への関心・意欲を高めようとする工夫がされてある。 ・「読み物」で自分自身に問いかける具体的な事例を挙げて、より科学的に学習を深めさせるための工夫がされている。 ・学習の振り返りとして「考えよう」「生かそう」で、分かりやすい問いや身近な内容を取りあげ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫がされている。さらに、実習資料や写真、絵の配列・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読み物」として、学習内容に関連する読み物資料を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされている。 第1章(6)、第2章(2)、第3章(4)、第4章(6)、体育理論(6)計(24) ・「資料・実習資料」として、実習や調査を実施するための資料やその具体例を掲載し、体験的な学習がスムーズに実施するための工夫がされている。(7) ・「やってみよう」「考えてみよう」の中で、学習内容を実生活・実社会に関連付けるための学習活動や実生活を振り返るチェック項目・学習活動を掲 	<ul style="list-style-type: none"> ・「この教科書の使い方」が最初に示され、また、「保健体育の学習方法」が明確である。 ・「保健編」「体育編」を一緒にし、各学年で学習する内容で構成している。 ・見開き2ページを基本として構成を工夫している。 ・主に章末に発展的な資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」「他教科」として関連する学習内容を示してある。 ・巻末にキーワードの解説があり、分かりやすい説明がある。 ・「http://○○○」として、インターネットのアドレスが紹介されているので、多様な資料収集がしやすい。 ・生徒の興味・関心を高められるよう、単元毎にQ&A(選択問題)を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「考えてみよう」として、自己課題を設定しやすいよう、日常生活の経験をもとに書きやすい工夫がされている。 また既習事項を活用し、さらに学習が深められるような工夫がある。 ・日常生活を振り返り課題を書く活動(46) ・既習事項を活用し課題の問題に取り組む活動(30)、 ・調査活動、ロールプレイ、ブレインストーミング ・学習した内容を活用する活動(20) ・吹出し等により、思考力・表現力を高めるための工

	<p>数量が適当で、知識・技能の定着を図る工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の最後に「確認の問題」「活用の問題」が設けられており、基礎・基本の定着に活用できる。 	<p>載・提示し、実践力を高める工夫がされている。</p>			<p>夫がある。</p>
<p>4 大日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに「今日の学習課題」、さらに「考えよう」で自身への身近な課題を提示することで学習への関心を高める工夫がされている。 単元によっては「トピックス」で現代的な課題を取り上げることで科学的知識の理解を図る工夫がされている。 単元によって「学習を活かして」で学習の振り返りをさせ、さらに「キーワード」による言葉の提示をすることで、今後の生活に生かす課題が出されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「トピックス」「トピックス^{プラス}」として、学習内容と関連深い話題や読み物を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされている。 第1章(5)、第2章(8)、第3章(4)、第4章(17)、体育理論(11)計(45) 「資料」「学習を活かして」の中で、実習や調査の実施のために、記録表の掲載やその手順を写真・イラストで示し、体験的な学習の実施のための工夫がされている。(7) 単元毎にある「考えよう」の中で、実生活・実社会に関連付けるための学習活動や実生活を振り返るチェック項目を掲載、「学習を活かして」の中で、 	<ul style="list-style-type: none"> 体育編3、保健編4で構成されている。 見開き2ページを基本として構成を工夫している。 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料として、イラストやグラフ・データが豊富に掲載されており、視覚的に見やすい工夫がされている。 ページの最下部に「ミニ知識」として関連した情報を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を整理し、理解を定着させ、自己の生活に活かし向上させる活動がある。 「学習を活かして」キーワードを設け、名称を記述させ改善策を考えるなど整理しやすい内容となっている。 まとめる活動(28) 説明をする活動(15) ロールプレイング(1)

		<p>実生活に関連付けた学習活動を提示し、実践力を高める工夫がされている。</p>			
<p>50 大修館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに「クエスチョン」で本時の学習を提示し、学習の導入の段階で関心を高める工夫がされている。 ・单元によって「コラム」で単元の学習内容の身近な具体例を挙げ、科学的理解を深めるための工夫がされている。 ・重要語句は「キーワード」で示し、また、教科書の配列、位置を考慮し、わかりやすく説明、解説を載せることで知識の定着を図る工夫がある。さらに、「トライ」で学習の振り返りをする問いが提示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」「事例」「Topic」として、学習内容に関連し、その理解を助ける話や関連する話題を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされている。 第1章(9), 第2章(6), 第3章(14), 第4章(16), 体育理論(10) 計(55) ・「実習」として、実習の手順を写真やイラストで示し、体験的な学習が実施できるよう工夫がされている。(5) ・「クエスチョン」の中で、実生活を振り返る学習を、「トライ」の中で、実生活・実社会に関連付けた学習活動を提示し、実践力を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編3, 保健編4で構成されている。 ・見開き2ページを基本として構成を工夫している。 ・「チャレンジ」「コラム」などの主に章末に発展的な資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「URL」としてインターネットのアドレスが紹介されているので、多様な資料収集がしやすい。 ・本文には、下地が薄くしかれており、資料等の区別がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「トライ」として項目の最後に既習した内容を活用し、振り返りやすいよう、個人思考や理由を挙げて説明させる工夫がされている。 話し合う活動(3) 自分の意見を発表する活動(4) ・「チャレンジ」として、既習した事を発展させ学びを深めさせる課題が設定されている。 予測を整理して書く活動(7) イメージを書き出し、内容を深める活動(5)

<p>224 学研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標と「ウォームアップ」で、自分自身で『考える』『表現する』『チェックする』『振り返る』『読み取る』などの学習活動への問いかけにより、関心を高める工夫がある。 ・単元によって「カウンセリングルーム」「コラム」で具体例を挙げ、学習内容の科学的な理解が深められる工夫がされている。 ・「エクササイズ」「活用しよう」で、学習の振り返りをさせ、今後の生活に活かせるよう工夫がされている。さらに、「実習」で実習・調査が仕組みれ、写真や絵を分かりやすく配列し、技能の定着を図る工夫がされてある。 ・各章の最後に「用語の確認」「基礎の完成」「活用の問題」の問題が設けられており、基礎・基本の定着に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされている。第1章(2)、第2章(5)、第3章(5)、第4章(9)、体育理論(10)計(31) ・「実習」として、実習や調査を実施する方法や手順を写真やイラストで示し、体験的な学習の実施のための工夫がされている。(9) ・「ウォームアップ」「活用しよう」などの中で、実生活を振り返る学習活動を提示、「エクササイズ」などの中で、実生活を振り返るチェック項目を掲載している。また、章末の「探究しようよ!」の中で、実生活・実社会と関連した学習活動を提示するなど、実践力を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健編4、体育編3で構成されている。 ・見開き2ページを基本として構成を工夫している。 ・単元末に探求活動例と並べて、発展の内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」で参考になるウェブサイトへのガイドがあり、多様な資料収集がしやすい。 ・学習内容に適切に関連付けられた、写真やイラストを掲載し、さらにマークによって、『考える』『話し合う』『チェックする』など、活動内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に言語活動、協働的活動が出来るよう工夫されている。 ・それぞれに「言語」「協働」のマークがつけられている。言語活動に係る活動として、「ウォームアップ」[エクササイズ]「活用しよう」などで提示している。ウォームアップ(45)エクササイズ(29)活用しよう(42) ・「実習」や「探求」として、資料を読み解く課題やコミュニケーションを育てる実習方法などが掲載されている。 ・「活用しよう」「実習」の学習課題の提示の中に『言語』と表記し、その学習課題が言語活動を含むものであることを意識できるようにしている。
-------------------	--	--	---	---	---

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	技術・家庭(技術分野)	3	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>① 目標の示し方 ○小項目ごとに「目標」を示している。</p> <p>② 伝統文化 ○伝統文化に関する内容に「技術の匠」コーナーを設けたり「伝統・文化」マークを付けるなどして示している。 ○「資料」の中に「日本の伝統野菜」についての記載がある。</p> <p>③ まとめの工夫 ○章末の「学習のまとめ」を「学習を振り返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」の3部構成にしている。 ○各章単元ごとに「まとめよう」のコーナーを設けている。</p>	<p>④ 興味関心を高める工夫 ○各章項目ごとに「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」という項目を設定している。 ○各章に「生活に生かそう」のコーナーを設け、自分たちの暮らしにつなげて考えられる工夫がされている。 ○ページ下に「ひとくちQアンドA」がある。 ○A 材料と加工に関する技術では、教科書右下にスカイツリーができるまでをパラパラ漫画で見ることができる。</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習 ○各領域とも取り上げてある実習事例は、写真とあわせ、製作・制作や育成の手順が具体的に示している。また、その数は各領域を合わせて34例で</p>	<p>⑦ 題材の配列 ○ガイダンスとして12ページを要している。 ○「材料と加工に関する技術」において「製図」に関わる学習内容が同じページに掲載されており、それぞれの図法（キャビネット図・等角図・第三角法による正投影図）の特徴を比較しやすくすることで、理解しやすくなっている。 ○「材料と加工に関する技術」70ページ「エネルギー変換に関する技術」52ページ「生物育成に関する技術」40ページ「情報に関する技術」56ページ ○「材料と加工に関する技術」において、木材、金属プラスチック材料に関する記述を「いすに使われている材料の例」とし</p>	<p>⑨ 本文記述と関連づけがなされたマークの活用 ○多角的な学習を効果的に標記するための工夫として、マークが多様に使われている。 ○学習内容の提示・発問として各小項目に「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合おう」「やってみよう」などの欄を少なくとも1つ以上設け、学習の始めの活動例を示している。 ○「リンク」「他教科」「小学校」というマークで他のページや他教科との関連、小学校の学習の振り返りを示している。 ○「ポイント」のマークを用い、実習や活動のポイントを確認することを示している。 ○「衛生」のマークを用い、</p>	<p>⑩ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ○「情報に関する技術」では次のような過程の中で、デジタル作品を作ることをとおし、言葉や図表などを用いて考えたり、説明したりする学習活動を行うことになっている。 1 制作品の構想 2 制作品の設計 3 素材の準備・加工 4 素材の統合 5 制作品の評価・修正 6 制作品の発表・発信 ○デジタル作品の制作の実習例ではそれぞれプレゼンテーション・ビデオ編集・Webページ作成ソフトウェアの紹介が見開き2ページにわたってなされ、合わせてプラス</p>

		<p>ある。</p> <p>⑥ 技術の適切な評価と活用</p> <p>○「エネルギー変換に関する技術の評価・活用」として、次の項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換に関する技術 ・エネルギー変換に関する技術とエネルギー問題 ・エネルギー変換に関する技術と環境との関わり ・エネルギー変換に関する技術と経済との関わり ・エネルギー変換に関する技術と社会との関わり ・新しいエネルギー変換に関する技術の開発 	<p>てイラストをまじえて記述してある。さらに、「技術のとびら」のページに木材、金属、プラスチック材料のそれぞれの特徴を写真やイラストをまじえて詳述してある。あわせて具体的な利用例を写真で紹介している。</p> <p>⑧ 発展的な学習の扱い方</p> <p>○発展のマークを付けている</p> <p>発展マークについての説明</p> <p>「学習指導要領には示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」</p>	<p>衛生に配慮することを示している。</p> <p>○「消費者」のマークを用い、消費者としての意識を持って学習することを示している。</p> <p>○「防災」のマークを用い、防災への備えを示している。</p>	<p>面マイナス面の紹介がなされている。</p> <p>⑪ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において次のように「製作品の設計」の流れを示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 設計の手順 2 構想の方法 3 構想の具体化 4 構想のまとめ（修正） 5 製図 <p>○各章の「評価・活用」の単元に「プラス面・マイナス面」を対比してまとめたり、その発表の仕方を示したりするなど、「まとめと発表の仕方」を記載している。</p>
--	--	--	---	---	--

<p>① 目標の示し方 ○大項目ごとに、学習する内容と学習内容に関する写真を載せている。</p> <p>② 伝統文化 ○写真を用いて、伝統と文化を示している。また、同じく口絵にも示している。</p> <p>③ まとめ工夫 ○各内容の章末に「まとめ」と「章末問題」を設定している。</p>	<p>④ 興味関心を高める工夫 ○各項目のはじめに「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」の欄がある。</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習 ○各領域とも取り上げてある実習事例は、写真とあわせ製作・制作の過程や育成の手順が写真と説明文で具体的に示してある。また、その数は各領域を合わせて22例である。</p> <p>⑥ 技術の適切な評価と活用 ○「エネルギーの問題を解決する技術」として、次の3つの項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① エネルギーを取り巻く問題 ② エネルギーを節約する技術 ③ エネルギーの問題と現実</p>	<p>○ガイダンス的な内容として6ページを要している。</p> <p>○「材料と加工に関する技術」70ページ「エネルギー変換に関する技術」50ページ「生物育成に関する技術」52ページ「情報に関する技術」56ページ</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において「製図」に関わる学習内容（キャビネット図・等角図・第三角法による正投影図）が3ページにわたって図示してある。ただ、かき方の説明の図や文章記述はない。</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において、木材、金属プラスチック材料に関する記述がある。そのうち、プラスチック・金属については「性質と利用」に加え、リサイクルについて記述されている。</p> <p>⑧ 発展的な学習の扱い方 ○発展のマークを付けている</p> <p>○発展マークについての説明 「学習指導要領には示されていない内容です。学習</p>	<p>⑨ 本文記述と関連づけがなされたマークの活用 ○学習内容の提示・発問として「調べよう」「やってみよう」「考えよう」の欄が設けられているが、小項目によっては設けられていないところもある。</p> <p>○他との関連に関する項目（マーク等）は設けられていない。</p>	<p>⑩ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ○「情報に関する技術」では次のような過程の中で、デジタル作品を作ることとおし、言葉や図表などを用いて考えたり、説明したりする学習活動を行うことになっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デジタル作品の設計 2 情報の加工ー文書とレイアウト 3 情報の加工ー表・グラフによる整理 4 情報の加工ー画像の加工（デジタル写真の加工） 5 情報の加工ービデオの撮影と編集 6 プレゼンテーション 7 Webページ <p>○「デジタルものづくり」の章では、「プレゼンテーションの制作に関わって、準備、内容の組立て、スライドの工夫、プレゼンテーションの実行とその手順を示している。</p> <p>○最後に、相互評価するための「評価シート」を掲載している。</p>
---	--	--	---	---

			の進んだ人や、興味を持った人は必要に応じて取り組んでみましょう。」		<p>⑪言葉や図表，概念などを用いて考えたり，説明したりするなどの学習活動の工夫</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において次のように「製作品の設計」の流れを示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活と製品の関係を考える 2 製品に必要な機能を検討する 3 アイディアを考える 4 アイディアシートをつくる 5 組み立て図をかく 6 模型づくりのための材料取り図をかく 7 模型をつくる 8 問題点を見つける 9 問題点を改善し，組立て図をかき直す
9 開隆堂	<p>① 目標の示し方 ○小項目ごとに「目標」を示している。</p> <p>② 伝統文化 ○ガイダンスの内容の章を中心に、「今も生きる先人の技術」や「活躍している日本の伝統技術」という見出しで，伝統と文化を示している。</p> <p>③ まとめの工夫</p>	<p>④ 興味関心を高める工夫 ○各項目のはじめに「考えてみよう」「思い出してみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「観察してみよう」「やってみよう」「見つけてみよう」の欄がある。</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習 ○各領域とも取り上げてある実習事例は，製作・制作の過程や育成の手順が写真と説明文で具体的に</p>	<p>○ガイダンスとして18ページを要している。</p> <p>○「材料と加工に関する技術」66ページ「エネルギー変換に関する技術」40ページ「生物育成に関する技術」36ページ「情報に関する技術」64ページ</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において「製図」に関わる学習内容が2ページにわたって掲載されている。それぞれの図法(キ</p>	<p>⑨ 本文記述と関連づけがなされたマークの活用</p> <p>○学習内容の提示・発問として「考えてみよう」「調べてみよう」の欄を設け，各学習項目を学ぶにあたって，基礎的なこと身につけるために，あらかじめ考えたり調べたりする課題を示している。</p> <p>○「リンク」という欄で，他の学習項目や家庭分野など，内容が関連するペ</p>	<p>⑩ 実習等の結果を整理し，考察する学習活動の工夫</p> <p>○「情報に関する技術」では次のような過程の中で，デジタル作品を作ることとおし，言葉や図表などを用いて考えたり，説明したりする学習活動を行うことになっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活の中のメディア 2 デジタル作品の構想

	<p>○各内容の章末に「学習のまとめ」を次の2つの項目で設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習をふり返ろう」 ・「生活に生かそう」 <p>○各単元に「ふり返り」のコーナーを設けている。</p> <p>○「探究」コーナーを設定して、学習内容を発展させる工夫がされている。</p>	<p>示してある。また、その数は各領域を合わせて30例である。</p> <p>⑥ 技術の適切な評価と活用</p> <p>○「エネルギー変換に関する技術の評価・活用」として、次の2つの項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① 社会・環境とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換に関する技術と社会・環境 ・エネルギー変換に関する技術と産業・経済 <p>② エネルギー変換に関する技術とわたしたち</p>	<p>ャビネット図・等角図、第三角法による正投影図)の特徴を比較しやすくすることで、理解しやすくなっている。</p> <p>○4領域の最初の2ページにわたって技術に関わる様々な発明や発見の歴史が掲載されている。</p> <p>⑧ 発展的な学習の扱い方</p> <p>○発展のマークを付けている。</p> <p>○発展マークについての説明 「発展的な学習内容。(この『発展』で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない。)」</p>	<p>ページへのリンクを示している。</p> <p>○「探究」のマークを用い、学習内容を深めたり広げたりして、さらに探究してゆく内容を示している。</p>	<p>3 情報の収集と加工 4 作品の制作・発表</p> <p>○デジタル作品の制作の実習例ではそれぞれプレゼンテーション・ビデオ編集・Webページ作成ソフトウェアの紹介がされている。このうちプレゼンテーションソフトウェアは見開き2ページ、ビデオ編集・Webページ作成ソフトウェアは2つを合わせて見開き2ページに紹介がなされている。</p> <p>○「デジタル作品の制作・発表」では、「素材の組み合わせ」「全体の見直し」「作品発表、発表後の評価と改善」というように、学習の流れを示している。</p> <p>○プレゼンテーションの例では、「設計」「制作：素材集めと加工」「制作：作品製作」「製作：全体の見直し」「発表」とその手順を細かく示している。</p> <p>⑪ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫</p> <p>○「材料と加工に関する技術」において次のように</p>
--	--	---	--	---	--

					<p>「製作品の設計」の流れを示している。</p> <ol style="list-style-type: none">1 使用目的と製作品の決定2 機能の検討3 構造の工夫4 使用する材料の選択5 加工方法の検討6 接合方法の検討7 仕上げ方法の検討8 製図
--	--	--	--	--	---

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	技術・家庭（家庭分野）	3	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>① 目標の示し方 ○項目ごとに見出しの下に目標を1つ又は2つ示している。</p> <p>② 伝統と文化 ○伝統と文化に関する内容に「伝統・文化」のマークを付け、写真やイラストなどを掲載し事例を紹介している。 ○和服や布、文様など日本の生活や自然との関わりの中で育まれてきた文化について資料を提示している。</p> <p>③ 持続可能な社会 ○巻頭資料において、「持続可能な社会を目指して」を掲載している。 ○持続可能な社会になるために、どんな工夫をした</p>	<p>④ 興味・関心を高める工夫 ○ガイダンスの構成・・・多方面の内容が詳しくまとめられている。 ○吹き出し等・・・内容に関連する写真、イラストや資料が豊富に使ってある。各項目の始めのページには、「話し合ってみよう」などの質問を設定している。</p> <p>⑤ 実践的・体験的学習 ○つくりやすそうな具体例がたくさんある。 調理実習具体例 47 製作実習具体例 13 ○布の裁断の仕方の説明があり、分かりやすい。</p> <p>⑥ 学習の振り返り ○各章末に「学習のまとめ」として、A、B、Cの自己評価、確かめ問題、生活へ生かすことへの提案がなされている。</p> <p>⑦ 問題解決的な学習活動</p>	<p>⑧ 題材の配列 ○ガイダンス 20ページ ○食生活の自立が始めにきて、衣住生活、家庭・家族、消費生活の順である。 ○衣住生活が、衣生活、住生活の順である。 ○身近な消費生活と環境の分量がもっとも少ない。</p> <p>⑨ 発展的な学習の扱い ○発展マークについて、「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と記されている。 ○発展のマークを付し、7項目挙げてある。 ○発展の内容で「お弁当作</p>	<p>⑩ 本文記述と関連付けがなされた資料等の活用 ○学習を深めるうえで役に立つ内容等を「資料」のマークで、ほかの章などとの関連については「リンク」、他教科との関連については「他教科」のマークで示している。 ○ページの下に、Q&Aを載せ、興味・関心を高めるように工夫している。</p>	<p>⑪ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ○幼児とのかかわりをまとめる例が丁寧に記述してある。</p> <p>⑫ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫 ○言葉のページを設け、用語の独特の言い回しや名称を説明している。 ○「生活の課題と実践」に「まとめと発表の仕方」を記載している。 具体例 5例</p>

	<p>ら良いのか考えるヒントになるデータが複数使っている。</p> <p>○「持続可能」な社会を目指してとして、衣食住に関するアクションプランを紹介している。</p>	<p>○巻末に、「生活の課題と実践」の学習の進め方と実践例を掲載している。</p> <p>実践例 6例</p>	<p>りに挑戦しよう」を示し、分かりやすくまとめてある。</p>		
6 教図	<p>① 目標の示し方</p> <p>○項目ごとに、見出しの下に学習の目標を2つ示している。</p> <p>② 伝統と文化</p> <p>○伝統と文化に関する写真やイラストなどを掲載している。また、口絵では年中行事の事例を紹介している。マークでの表記はされていない。</p> <p>○実習「ゆかたを自分で着てみよう」では、着付け方法を詳しい絵で説明している。</p> <p>③持続可能な社会</p> <p>○「いま、わたしたちにできること」という内容において、3Rの実践について「リデュース」「リユース」「リサイクル」の例を示して説明している。</p>	<p>④ 興味・関心を高める工夫</p> <p>○ガイダンスの構成・・・コンパクトにまとめている。</p> <p>○吹き出し等・・・各項目の始めのページには、「Q」マークをつけて学習に関する問いかけなどを行っている。</p> <p>⑤ 実践的・体験的学習</p> <p>○つくりやすそうな具体例が記載してある。</p> <p>調理実習具体例 33 製作実習具体例 6</p> <p>⑥ 学習の振り返り</p> <p>○各章末の「学習の振り返り」の間「キーワードの確認をしよう」では、問いに答えることによって学習を振り返らせている。</p> <p>○「学習の振り返り」の間「学習をこれからの生活</p>	<p>⑧ 題材の配列</p> <p>○ガイダンス 9ページ</p> <p>○家族・家庭が始めに来て、食生活、衣住生活、消費生活の順である。</p> <p>○衣住生活が、住生活、衣生活の順である。</p> <p>○生活の課題と実践の分量が最も多い。</p> <p>⑨ 発展的な学習の扱い</p> <p>○発展マークについて、「学習指導要領に示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は、必要に応じて取り組んでみましょう。」と記されている。</p> <p>○発展のマークを付し、12項目挙げ、目次にも全項目が記されている。</p> <p>○「自己決定のプロセスを考えよう」を発展的なペ</p>	<p>⑩ 本文記述と関連付けがなされた資料等の活用</p> <p>○学習上参考となる資料等を「参考」や「コラム」のマークで表している。また技術分野との関連を「リンク」のマークで示している。</p>	<p>⑪ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫</p> <p>○幼児とのふれ合いレポートでは、まとめるためのチェックポイントを示している。</p> <p>⑫ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫</p> <p>○「生活の課題と実践」に「まとめる・発表する」を掲載している。</p> <p>具体例 3例</p>

		<p>に生かそう」では,改善のための工夫を考慮することや,学習したことを基に生活で実践する内容を示している。</p> <p>⑦ 問題解決的な学習活動 ○内容末に「生活の課題と実践」の学習の進め方と実践例を掲載している。 実践例 6例</p>	<p>ージの初めに扱っている。</p>		
<p>9 開隆堂</p>	<p>② 目標の示し方 ○項目ごとに学習の目標を1つ又は2つ示している。</p> <p>② 伝統と文化 ○伝統と文化に関する内容に「伝統文化」のマークを付け,写真やイラストなどを掲載し事例を紹介している。</p> <p>○衣服の構成の中で,和服の文化とゆかたの着方について触れている。</p> <p>③持続可能な社会 ○巻頭資料において,「持続可能な社会を目指して」を掲載している。</p> <p>○さらに,各内容の最後に</p>	<p>④ 興味・関心を高める工夫 ○ガイダンスの構成・・・写真を多く使ってまとめである。</p> <p>○吹き出し等・・・内容に関連する写真,イラストや資料が豊富に使ってある。各項目の始めのページには,「話し合ってみよう」などの質問を設定している。</p> <p>⑤ 実践的・体験的学習 ○つくりやすそうな具体例が記載してある。 調理実習具体例 47 製作実習具体例 9</p> <p>⑥ 学習の振り返り ○各章末に「学習のまとめ」を設定している。</p>	<p>⑧ 題材の配列 ○ガイダンス 10ページ ○家族・家庭が始めにきて,食生活,衣住生活,消費生活の順である。</p> <p>○衣住生活が,住生活,衣生活の順である。</p> <p>○食生活のページ数の割合が特に多い。</p> <p>○消費生活についても,生活と課題の実践例が掲載されている。</p> <p>⑨ 発展的な学習の扱い ○発展マークについて,「発展的な学習の内容(この『発展』で取り扱う内容は,学習指導要領に示されているものではなく,</p>	<p>⑩ 本文記述と関連付けがなされた資料等の活用 ○学習の参考となる資料や解説を「参考」のマークで,他の学習項目や技術分野などとの関連については「リンク」のマークで表している。また,学習を深めたり広げたりして,さらに探究していく内容については「探究」マークで示している。</p> <p>○ページ下に豆知識を載せ,興味・関心を高めるように工夫している。</p>	<p>⑪ 実習等の結果を整理し,考察する学習活動の工夫 ○体験レポートのまとめ方の例を写真で示している。</p> <p>⑫ 言葉や図表,概念などを用いて考えたり,説明したりするなどの学習活動の工夫 ○「生活の課題と実践」に「結果をまとめる」を掲載している。 具体例 3例 ○巻末に,言語活動を充実するための取組例を示している。</p>

	<p>「持続可能な社会をつくる」とし、考えることのできるまとめのページを設定している。</p>	<p>○各章末の「学習のまとめ」として、はい・いいえの二択の自己評価と、自分の生活の課題を見つけ、今後に活かしていきたいことについての記入欄を設定し、交流に活用できるようにしている。</p> <p>⑦ 問題解決的な学習活動</p> <p>○巻末に「生活の課題と実践」の学習の進め方と実践例を掲載している。</p> <p>実践例 8例</p>	<p>一律に学習しなければならない内容ではない。」と記されている。</p> <p>○発展のマークを付し、12項目挙げている。そのうち、9項目が、目次に記されている。</p> <p>○発展の内容で「災害にあった時の食事は？」として、世相を反映した内容になっている。</p>		
--	---	--	---	--	--

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	英語	6	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実												
2 東書	<p>視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕 「まとめと練習」で、「確かめよう」は肯定文・否定文・疑問文と基本文が提示してあり、「やってみよう」は2種類の練習問題がある。</p> <p>(具体例・現在完了)</p> <p>継続・経験・完了の基本文がまとめてあり、よく一緒に使われる語句も提示してある。</p>	<p>視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】 ○英語を使ったペア、グループでの会話の設定場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hi, English! ・基本練習 ・Speak ・Presentation ・Daily Scene <p>2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの基本練習とSpeakに、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストがほぼ毎回添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置づけられている。</p>	<p>視点〔題材の内容構成と分量〕 (第3学年)</p> <p>内容構成</p> <table> <tr><td>日常生活・風俗習慣</td><td>1</td></tr> <tr><td>物語</td><td>2</td></tr> <tr><td>地理・歴史</td><td>3</td></tr> <tr><td>伝統文化</td><td>1</td></tr> <tr><td>自然科学</td><td>3</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table> <p>視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量 ○Hi, English!</p>	日常生活・風俗習慣	1	物語	2	地理・歴史	3	伝統文化	1	自然科学	3	その他	0	<p>視点〔巻末等資料の工夫〕 巻末等資料の内容 (第3学年)</p> <p>○「資料編」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Word List 2 Bonus Word Box <ul style="list-style-type: none"> ・日本の祝日 ・日本の年中行事 ・日本の風物 ・修学旅行 ・目標・抱負 3 数の読み方 4 形容詞・副詞比較変化表 5 不規則動詞変化表 6 3年 基本文・Basic Expression 一覧 7 1～3年 表現のまとめ 	<p>視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】 4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇)</p> <p>○Presentation ◇テーマ及び設定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介(4) ・一日の生活(4) ・思い出の行事(4) ・将来の夢(4) ・町紹介(4) ・好きなこと・もの(4) ・日本文化紹介(4) ・修学旅行(4) ・中学校生活(4)
日常生活・風俗習慣	1																
物語	2																
地理・歴史	3																
伝統文化	1																
自然科学	3																
その他	0																

			<ul style="list-style-type: none"> ・一日のあいさつ ・教室で使う英語 ・身のまわりのものを英語で言おう ・好きな食べ物・飲み物 ・できること <p>○Unit0</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを声に出して読もう ・英語の発音になれよう ・アルファベットを書こう <p>○学び方コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語の書き方 <p>○英語の歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sing ・Hello, Goodbye <p>項目数 1 1 1 7 ページ</p> <p>○大きさ (判) A B 判</p>	<p>8 1～3年 基本文一覧</p> <p>9 名作鑑賞 The Letter</p> <p>10 Further Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sato Mami : Making the Best of Life ・Malala Yousafzai : Education First <p>○「学び方コーナー」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章のまとめ方 ・5つの文構造 <p>○「英語の歌」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Imagine ・We are the World <p>○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Word Room 											
9 開隆堂	<p>視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕</p> <p>「英語のしくみ」で文法事項を細かくわけて説明がしてあり、それぞれに練習問題がついている。</p> <p>(具体例・現在完了) 完了継続・経験の3種類を</p>	<p>視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】</p> <p>○英語を使ったペア、グループでの会話の設定場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Start ・Speak ・Try ・Word Web ・Power Up Speaking 	<p>視点〔題材の内容構成と分量〕</p> <p>(第3学年)</p> <p>内容構成</p> <table border="0"> <tr> <td>日常生活・風俗習慣</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>物語</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>地理・歴史</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>伝統文化</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自然科学</td> <td>2</td> </tr> </table>	日常生活・風俗習慣	1	物語	2	地理・歴史	2	伝統文化	2	自然科学	2	<p>視点〔巻末等資料の工夫〕</p> <p>巻末等資料の内容</p> <p>(第3学年)</p> <p>○「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <p>1 Extensive Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> ・After Twenty Years ・Mother Teresa ・The Hat 	<p>視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】</p> <p>4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○My Project ○Special Project ◇テーマ及び設定状況
日常生活・風俗習慣	1														
物語	2														
地理・歴史	2														
伝統文化	2														
自然科学	2														

	<p>図と例文で示しており，練習問題がある。よく使われる語句も一緒にまとめている。また，過去形との違いも提示している。</p>	<p>・My Project 2ページで構成される各単元の各パートの左側のページのSpeakとTryに，ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し，応答を助けるイラストや表が多く添えられている。また，冒頭や各単元の間にも位置づけられている。</p>	<p>その他 0 視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量 ○Let's Start ・新しい友だちをつくろう ・町の中の会話を聞こう ・身の回りにあるものの英語 ・英語を聞いてみよう ・使ってみよう ○PROGRAM1 ・アルファベットになれよう ・アルファベットが表す音を聞いてみよう ・アルファベットを書こう ○アルファベットで遊ぼう ○Classroom English ○辞書を引いてみよう 項目数10 18ページ ○大きさ(判)AB判</p>	<p>2 英語で「できるようになったこと」リスト ○「巻末資料」として，次の資料を掲載している。 1 Basic Dialog のまとめ 2 英語で料理 3 クイックQ&A 4 英語のつづり字と発音 5 符号の使い方 6 英語の歌 ・Tie a Yellow Ribbon Round the Ole Oak tree ・Heal the World ・Honesty 7 単語と熟語 8 不規則動詞活用表 9 部活動 10 いろいろな職業</p>	<p>・自分のことを話そう(4) ・人を紹介しよう(4) ・知りたい情報を引き出そう(3) ・スキット作りを楽しもう(4) ・スピーチをしようーこんな人になりたい(4) ・CMを作ろうーこんなものがほしい(4) ・あの人にインタビューしよう(4) ・日本文化を紹介しよう(4) ・卒業に向けてー思いを伝えよう(2)</p>
11 学図	<p>視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕 「Check It Out」でこんな</p>	<p>視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】 ○英語を使ったペア，グル</p>	<p>視点〔題材の内容構成と分量〕 (第3学年)</p>	<p>視点〔巻末等資料の工夫〕 巻末等資料の内容 (第3学年)</p>	<p>視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】 4技能を統合的に活用させ</p>

<p>時にはこう言うという表現で細かな文法の説明・英文(色分け)が提示してある。</p> <p>(具体例・現在完了) 完了・継続・経験の3種類を詳細な説明と、肯定文・否定文・疑問文で提示してある。</p>	<p>ープでの会話の設定場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Pre-lesson ・ Let's Start ・ Speaking ・ Action! ・ Word Tree ・ Project ・ Talking Time ・ Reading <p>2ページで構成される各単元の各パートの右側のページのSpeakingに、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表や写真がほぼ毎回添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置づけられている。</p>	<p>内容構成</p> <table border="0"> <tr><td>日常生活・風俗習慣</td><td>3</td></tr> <tr><td>物語</td><td>2</td></tr> <tr><td>地理・歴史</td><td>2</td></tr> <tr><td>伝統文化</td><td>1</td></tr> <tr><td>自然科学</td><td>2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table> <p>視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室でよく使う英語 ○こんなときはこう言おう ○Pre-lesson <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話を聞いてみよう ・ クラスメートと自己紹介しよう ・ 自己紹介をしよう ○Let's Start <ul style="list-style-type: none"> ・ The Alphabet ・ つづりと発音 A ・ つづりと発音 B ・ 身の回りの英語 A ・ 身の回りの英語 B ・ 身の回りの英語 C 	日常生活・風俗習慣	3	物語	2	地理・歴史	2	伝統文化	1	自然科学	2	その他	0	<p>○巻頭に、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんな場面で伝えたい一言① ○「付録」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 英語の歌 <ul style="list-style-type: none"> ・ If We Hold on Together ・ We Are the World ・ Hero 2 More Words <ul style="list-style-type: none"> ・ 位置 ・ 体, 五感 ・ 身に付けるもの 3 つづりと発音 4 不規則動詞の変化表 5 形容詞・副詞の変化表 6 基本単語のまとめ 7 目標文のまとめ 8 ミニ辞典コーナー 9 説明しよう日本のこと 10 こんな場面で伝えたい一言② 	<p>る言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Chapter Project ○Book Project ◇テーマ及び設定状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことを伝えよう(3) ・ ○○さんを紹介しよう(3) ・ 写真の説明をしよう(3) ・ 手紙を書こう(2) ・ Show & Tellをしよう(3) ・ 日記を書こう(1) ・ 旅行の計画を立てよう(4) ・ 将来の夢(4) ・ 私の宝物(4) ・ 観光パンフレットを作ろう(3) ・ 日本の伝統文化を紹介しよう(2) ・ インタビューをしよう(4) ・ 尊敬する人についてスピーチをしよう(4) ・ 自分の意見を言おう(3) ・ 私の人生(4)
日常生活・風俗習慣	3															
物語	2															
地理・歴史	2															
伝統文化	1															
自然科学	2															
その他	0															

			・あいさつをしよう 項目数12 17ページ ○大きさ(判) B5判														
15 三省堂	<p>視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕 「文法のまとめ」で lesson ごとに文法が簡潔にまとめられている。例文や絵を使って説明している。</p> <p>(具体例・現在完了) 継続・完了・経験の3種類を肯定文・疑問文・応答文・否定文で提示し、絵を使い現在完了を表している。</p>	<p>視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】 ○英語を使ったペア、グループでの会話の設定場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Get ready ・Speak (話してみよう) ・Let's Talk ・Project ・USE-Speak ・Words & Sounds <p>2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの Speak (話してみよう) に、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表が時々添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置づけられている。</p>	<p>視点〔題材の内容構成と分量〕 (第3学年) 内容構成</p> <table border="0"> <tr><td>日常生活・風俗習慣</td><td>1</td></tr> <tr><td>物語</td><td>2</td></tr> <tr><td>地理・歴史</td><td>2</td></tr> <tr><td>伝統文化</td><td>2</td></tr> <tr><td>自然科学</td><td>1</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2</td></tr> </table> <p>視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量</p> <p>○Get Ready</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを楽しもう ・友達になろう(1) ・友達になろう(2) ・アルファベットを覚えよう ・英語の音とつづりに親しもう ・英語の文字を書いてみよう 	日常生活・風俗習慣	1	物語	2	地理・歴史	2	伝統文化	2	自然科学	1	その他	2	<p>視点〔巻末等資料の工夫〕 巻末等資料の内容 (第3学年) ○「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調べよう 2 Further Reading <ul style="list-style-type: none"> ・A Vulture and a Child ・Jimmy Valentine ・Japan, an Amazing Country 3 Songs【英語の歌】 <ul style="list-style-type: none"> ・Change the World ・You Raise Me Up ・ヒロシマの折鶴 4 絵でわかる英語のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・文の形 ・日本語と英語の違い 5 基本文のまとめ 6 いろいろな単語 7 会話表現 8 形容詞・副詞比較変化表 9 不規則動詞活用表 10 単語の意味 	<p>視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】 4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇)</p> <p>○Project ◇テーマ及び設定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をしよう(4) ・友達にインタビューしよう(3) ・大切なものを紹介しよう(3) ・有名人を紹介しよう(3) ・自分の夢を紹介しよう(3) ・自分の町を紹介しよう(4) ・先生にインタビューをしよう(3) ・日本文化を紹介しよう(3) ・ディスカッションをしよう(2)
日常生活・風俗習慣	1																
物語	2																
地理・歴史	2																
伝統文化	2																
自然科学	1																
その他	2																

			○教室で使う英語 項目数7 14ページ ○大きさ(判)AB判	○「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 1 CAN-DO リスト 2 Words to Remember													
17 教出	<p>視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕 「英語のしくみ」で例文を示し、英語と日本語に色をつけてわかりやすく説明してある。</p> <p>(具体例・現在完了) 継続・経験・完了の3種類を例文を使い、色で区別したり英語と日本語の語順をあわせて提示している。</p>	<p>視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】 ○英語を使ったペア、グループでの会話の設定場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Springboard ・Speak ・Task ・Project ・Time for a Skit ・Conversation Tips <p>2ページで構成される各単元の各パートの右側のページのSpeakに、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表や写真が多く添えられている。また、冒頭や各単元の間にも位置づけられている。更に、教科書とは別冊のEssentialsが付属しており、その中のPlus DialogやPlus Activityにおいて、多くのペアでの対話活動が単元順</p>	<p>視点〔題材の内容構成と分量〕 (第3学年) 内容構成</p> <table border="0"> <tr><td>日常生活・風俗習慣</td><td>2</td></tr> <tr><td>物語</td><td>1</td></tr> <tr><td>地理・歴史</td><td>1</td></tr> <tr><td>伝統文化</td><td>2</td></tr> <tr><td>自然科学</td><td>2</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td></tr> </table> <p>視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量</p> <p>○Springboard</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしよう ・こんなときはこう言おう ・身の回りの英語1 ・身の回りの英語2 ・アルファベットに親しもう ・アルファベットの音とつ 	日常生活・風俗習慣	2	物語	1	地理・歴史	1	伝統文化	2	自然科学	2	その他	1	<p>視点〔巻末等資料の工夫〕 巻末等資料の内容 (第3学年)</p> <p>○「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 辞書についていっしょに学ぼう! 2 Optional Reading ・Someone ・Giant Squids ・Free The Children ・John Mung 3 Sing Along! ・Top of the World ・Smile 4 重要構文復習リスト 5 Word List 6 形容詞・副詞比較変化表 7 不規則動詞変化表 8 Can-Do 自己チェックリスト <p>○巻末に次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本文化を英語で説明 	<p>視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】 4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇)</p> <p>○Project ◇テーマ及び設定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をしよう!(4) ・友だちをみんなに紹介しよう!(4) ・好きなマンガやアニメなどについて発表しよう!(4) ・ミニ英語新聞を作ろう!(4) ・あなたの夢を語ろう!(4) ・アンケート調査をして発表しよう!(4) ・自分たちの町のガイドブックをつくろう!(4) ・英語で卒業スピーチをしよう!(4)
日常生活・風俗習慣	2																
物語	1																
地理・歴史	1																
伝統文化	2																
自然科学	2																
その他	1																

		に活用できるようになっている。	つりに親しもう ・数字 ・曜日と教科 ・色 ・名前を書こう 項目数10 16 ページ ○大きさ(判) B5判 別冊のEssentialsが付属している。	しよう① 2 日本文化を英語で説明しよう② ○別冊として、36ページの冊子「Essentials」をつけている。レッスン順に語句や文法の復習ができるよう構成されている。新出語の意味とつづりを繰り返し確認できるようにしている。	
38 光村	視点〔言語に対する理解を深めるための工夫〕 「Language Focus」で「整理しよう」と「確認しよう」で構成されている。「整理しよう」では例文と説明、「確認しよう」では会話形式や適語補充等多様な練習問題がある。またテキストを再度見返すGrammar Huntがある。 (具体例・現在完了) 基本文があり、継続・完了・経験の例文・よく使われる語句が提示してある。また様々な時制との比較、練習	視点【積極的なコミュニケーションを促す工夫】 ○英語を使ったペア、グループでの会話の設定場所 ・Let's Enjoy English! ・Speak ・Word Network ・Drill ・Go for it! ・Skit Time ・You Can Do it! 単元の各パート後のTry It!の中のDrillやSpeakに、ペア等の活動が位置付けられている。対話例を示し、応答を助けるイラストや表や写真が多く添えられている	視点〔題材の内容構成と分量〕 (第3学年) 内容構成 日常生活・風俗習慣 3 物語 1 地理・歴史 1 伝統文化 2 自然科学 2 その他 2 視点〔小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列〕 (第1学年) 第1学年導入期における題材名及び量	視点〔巻末等資料の工夫〕 巻末等資料の内容 (第3学年) ○「付録」として、次の資料を掲載している。 1 Your Coach ・長い英文を読む ・まとまりのある英文を書く ・さまざまな英語を聞きとる ・英語のトレーニングを続けよう 2 CLIL 英語で学び、考えよう ・スポーツをもっと知ろう ・情報通信技術の発達と社会 3 Word Square ○「巻末付録」として、次	視点【4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫】 4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所(○)とテーマ及び4技能の設定状況(◇) ○Go for it! ◇テーマ及び設定状況 ・自己紹介をしよう(3) ・大切な人のことを紹介しよう(3) ・ALT新聞を作ろう(3) ・旅のしおりに作ろう(2) ・職場体験の報告をしよう(3) ・「私たちの町」を紹介しよう(3)

	<p>問題がある。</p>	<p>る。また、冒頭や各単元の間にも位置づけられている。更に巻末には、ペアの情報ギャップを生かした対話活動ができるような資料が載せられている。</p>	<p>○Let's Enjoy English</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・さまざまな場面の英語 ・アルファベット 1 ・アルファベット 2 ・身の回りのもの 1 ・身の回りのもの 2 ・数字 ・教室で使う英語 <p>項目数 8 15 ページ</p> <p>○大きさ (判) A B 判</p>	<p>の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Let's Read More ・ No More Landmines ・ The Most Valuable 23 Minutes ・ The Runner Wearing Number 67 ・ The Future Is Like the Ocean 2 英語の歌 ・ You've Got a Friend ・ Graduation Day 3 符号の使い方 4 英語のしくみ 5 不規則動詞活用表 6 基本のまとめ 7 Word List 8 基本文一覧 <p>○「巻末口絵」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Classroom English 2 こんなときどう言うの 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行新聞を作ろう (2) ・ 給食と弁当どちらがいい? (3) ・ 卒業文集を作ろう (2)
--	---------------	---	---	---	--